

第45回

日本臨床運動療法学会

The 45th Annual Meeting of
the Japanese Association of
Exercise Therapy and Prevention

学術集会



2026年

9月5日(土)/6日(日)

会場：昭和医科大学 上條記念館（東京都品川区）

プログラム・抄録集



選択的SGLT2阻害剤 -2型糖尿病治療剤- 薬価基準収載



デベルザ[®]錠20mg

DEBERZA[®] (トホグリフロジン水和物錠)

処方箋医薬品・注意—医師等の処方箋により使用すること

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。



製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

興和株式会社

東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

2024年1月作成

第 45 回 日本臨床運動療法学会学術集会

The 45th Annual Meeting of the Japanese Association of
Exercise Therapy and Prevention

Exercise therapy beyond diseases
– Keep Physical Activity, for Health and Life
(疾患を超えた運動療法－健康な人生のために続けよう)

プログラム・抄録集

会期 2026 (令和 8) 年 9 月 5 日 (土) ～ 6 日 (日)

会場 昭和医科大学 上條記念館
〒142-0064 東京都品川区旗の台 1 丁目 1 番地 20
URL: https://90th-showa.jp/kamijo_memorial_hall/

会長 木庭 新治
昭和医科大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門

<主催事務局>

昭和医科大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
Tel : 03-3784-8000 (大代表)

昭和医科大学 藤が丘病院 循環器内科
〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30
Tel : 045-971-1151 (代表)

<運営事務局>

第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会 運営事務局
有限会社ビジョンブリッジ内
〒162-0833 東京都新宿区笹塚町 43 新神楽坂ビル 2F
TEL : 03-5229-6888 (代表) E-mail : jaetp2026@visionbridge.jp

ご 挨 拶

第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会
会長 木庭 新治
昭和医科大学医学部
内科学講座 循環器内科学部門



謹啓 時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会を、2026 年 9 月 5 日（土）・6 日（日）に昭和医科大学 上條記念館に於いて開催することとなりました。

今回のテーマは「Exercise therapy beyond diseases - Keep Physical Activity, for Health and Life（疾患を超えた運動療法 ― 健康な人生のために続けよう）」です。運動に限らず、身体活動量を増加させることは生活習慣病、心血管疾患、がんなど多彩な疾患の発症を予防し、総死亡の抑制効果があります。小児、成人、高齢者、妊娠女性などライフステージを越えた有益な効果が証明されています。運動は継続することが重要です。本学術集会では、多様な運動の効果について、各分野の専門家や医療職が一堂に集まり、研究成果や医療現場での問題点について有意義な議論を積み重ねる場となることが期待されます。

実りの秋に実りのある修練や交流の場となりますよう、多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

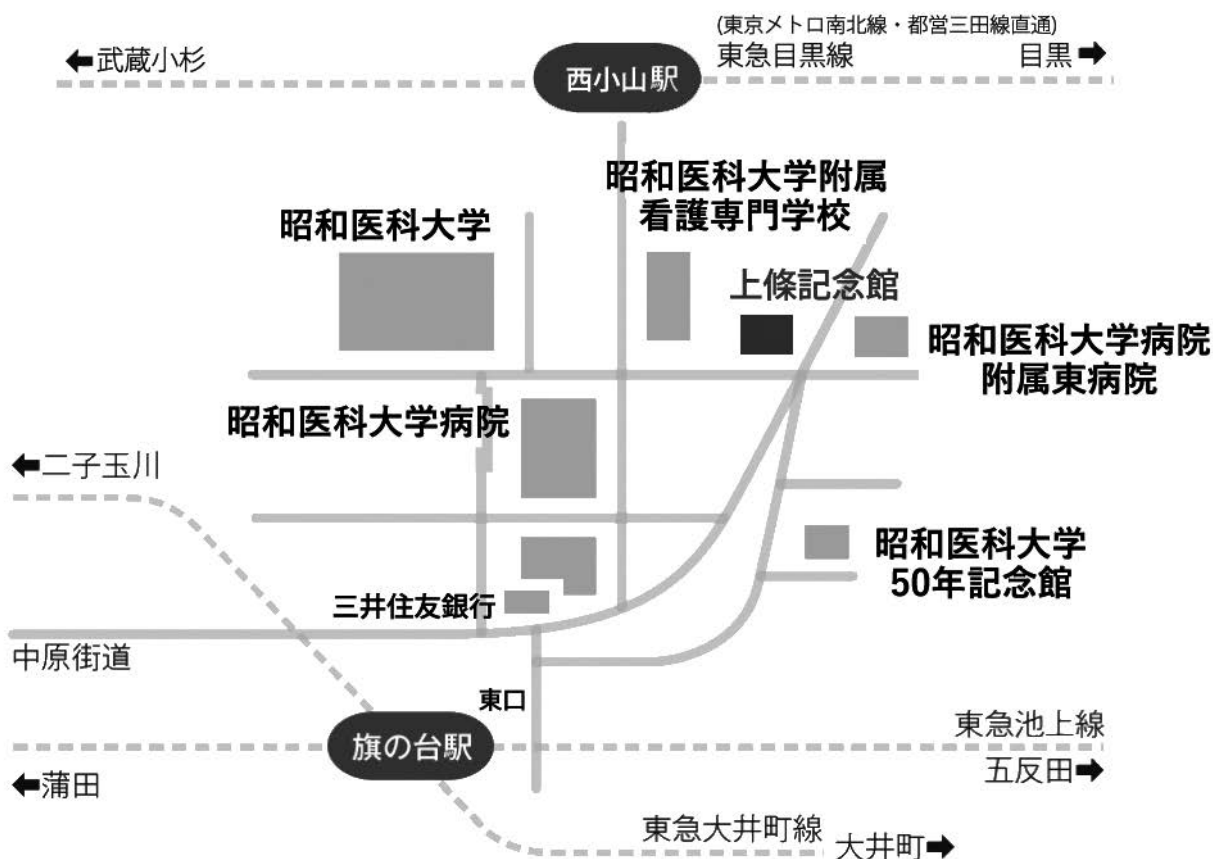
謹白

会場までのアクセス

— 会場 —

昭和医科大学 上條記念館

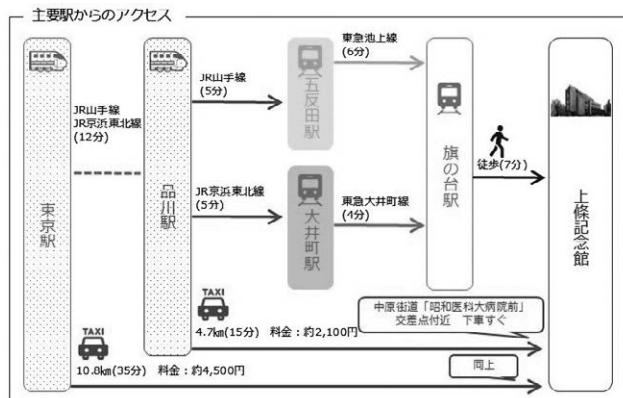
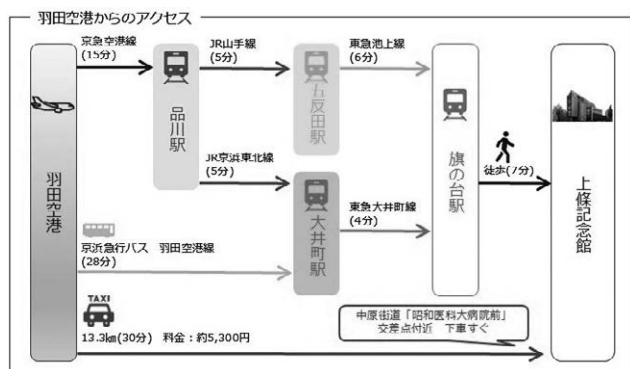
〒142-0064 東京都品川区旗の台1丁目1番地20



- ・旗の台駅（東急池上線 / 大井町線）から徒歩 7 分
- ・西小山駅（東急目黒線）から徒歩 12 分

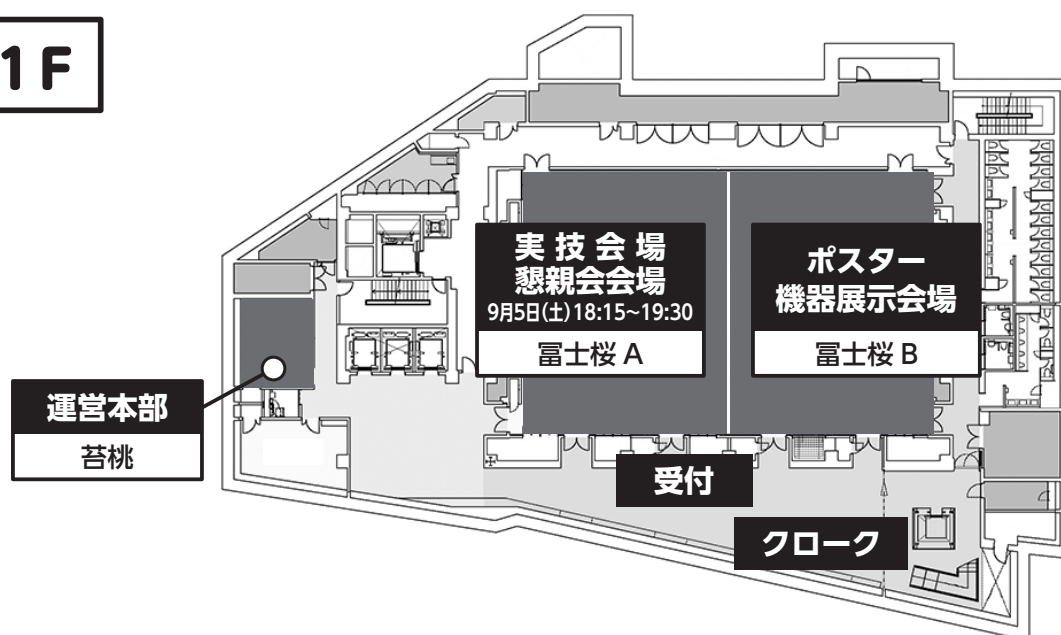
当館は駐車場・駐輪場がありません。
お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

遠方からのアクセス

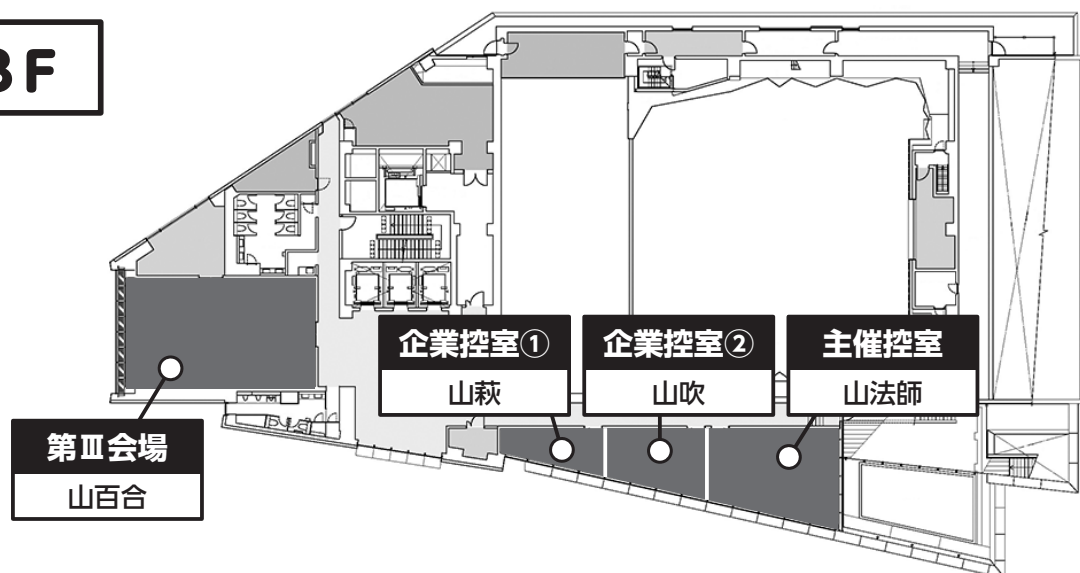


会場図

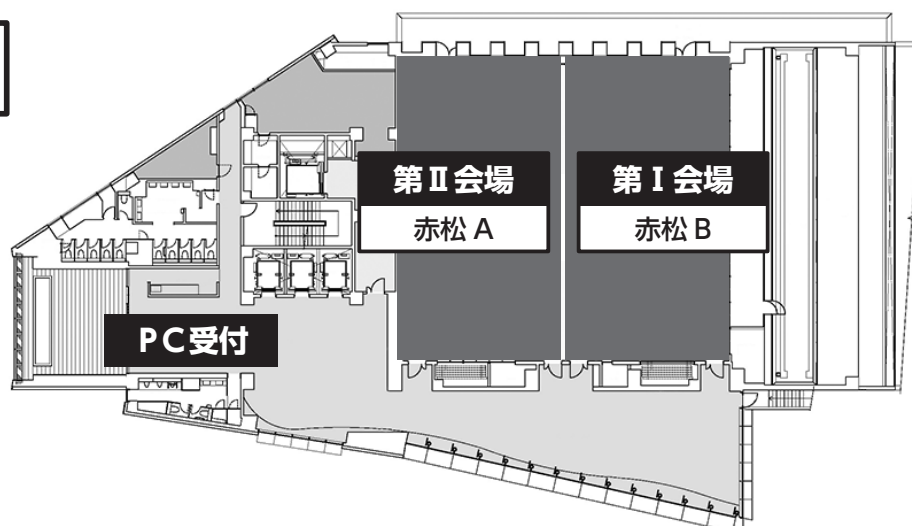
B1F



3F



4F



参加者の皆さまへ

1. 開催形式

対面による現地開催です。ライブ配信やオンデマンド配信はございません。

2. 参加登録

(1) 参加費

参加区分	事前参加登録 2026 年 7 月 1 日～9 月 3 日	当日参加登録 2026 年 9 月 5 日～6 日
会員（医師）	12,000 円	13,000 円
会員（コメディカル）	6,000 円	7,000 円
非会員（医師）	15,000 円	16,000 円
非会員（コメディカル）	9,000 円	10,000 円
学生（社会人の院生を除く）	無料	無料

※一般企業の方は「非会員（コメディカル）」の参加区分でお支払いください。

※非会員の方が、本学会にご参加いただく場合は、非会員としての参加費が適応されます。

ただし、当日に入会申請をされた方は、2027 年 3 月末までの年会費が無料となります。

（後日理事会で会員への登録が承認された場合）

(2) 参加登録受付方法

第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会を開催するにあたり事前参加登録をご用意いたしました。

参加される方は期間内に事前登録をお願い申し上げます。決済はクレジットカードのみです。

参加費の決済完了後は理由のいかんにかかわらず返金はいたしません。

事前登録受付期間：2026 年 7 月 1 日（水）～9 月 3 日（木）

また、学会当日にも、当日参加登録を受け付けます。事前登録しておられない方はご利用ください。

登録方法はオンライン登録のみとなります。

当日登録受付期間：2026 年 9 月 5 日（土）～6 日（日）13：30

(3) 会場での当日参加受付

9 月 5 日（土）8：30～18：00（昭和医科大学 上條記念館 B1F ホワイエ）

9 月 6 日（日）8：30～13：30（昭和医科大学 上條記念館 B1F ホワイエ）

学会当日は参加受付にて、スマートフォンなどの画面で事前参加登録完了メールをご提示ください（印刷されたものでも可）。ネームカードをお渡しします。氏名・所属をご記入の上、会期中は必ずご着用ください。

3. プログラム・抄録集

現地受付にて 1 冊 2,000 円で販売いたします。学会ホームページには PDF プログラムをアップしております。

4. 単位取得について

本学術集会では各種単位を取得することができます。資格更新単位のページをご確認ください。

5. ランチョンセミナーについて

各日 2 セッション、合計 4 セッション開催いたします。

参加登録時に事前にお申込みいただいた方には、当日受付にて整理券をお渡しいたします。

6. 懇親会参加について

日 時：9月5日（土）18：15～19：30

会 場：昭和医科大学 上條記念館 B1F 富士桜 A

参加費：3,000 円

7. 新入会員の受付・年会費徴収について

当日学会事務局において、新入会員のご案内をいたします。年会費は単年度で医師 8,000 円、コメディカル・一般 6,000 円です。入会手続きは後日になります。現金でのお取り扱いはありません。

8. 呼び出し・伝言

会場内でのスライドおよび館内放送での呼び出しは行いません。

9. クローク 開設時刻

9月5日（土）8：30～19：30

9月6日（日）8：30～14：30

開設場所：昭和医科大学 上條記念館 B1F ホワイエ ※貴重品や雨傘はお預かりできません。

10. 機器展示会場

昭和医科大学 上條記念館 B1F 富士桜 B

11. 会場における感染予防について

会場へお越しいただく皆様におかれましては、以下の通り感染拡大防止策へのご理解とご協力を頂きますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

- ・発熱症状や咳などの新型コロナウイルス感染症を疑う症状がある場合は、ご来場をお控え願います。
- ・手洗い、うがいの励行をお願いいたします。
- ・会場にて万が一体調が悪くなった場合は、速やかにお近くのスタッフにお声がけください。

12. その他

- ・フールビズの服装でご参加ください。
- ・学会場内は全館禁煙です。
- ・指定された場所以外は飲食禁止です。
- ・託児所のご用意はありません。
- ・学会参加者用の駐車場はありません。

13. 関連行事

◆理事会

9月4日（金）16：00～18：00

会場：昭和医科大学 上條記念館 第Ⅲ会場（山百合）

◆評議員会

9月5日（土）17：40～18：10

会場：昭和医科大学 上條記念館 第Ⅲ会場（山百合）

◆総会

9月6日（日）8：30～8：50

会場：昭和医科大学 上條記念館 第Ⅰ会場（赤松 B）

演者・座長の方へ

1. 発表時間

ご講演時間を下記のように予定しております。時間厳守にご協力いただきますようお願いいたします。

- ・優秀演題：発表 11 分、質疑応答 4 分
- ・ポスターセッション：発表 7 分、質疑応答 3 分
- ・理事長講演、会長講演、教育講演 1～14：発表 30 分
- ・シンポジウム 1：発表 16 分、質疑応答 3 分
- ・シンポジウム 2：発表 13 分、質疑応答 3 分
- ・シンポジウム 3：発表 12 分、質疑応答 2 分
- ・シンポジウム 4：発表 10 分、総合討論 40 分
- ・特別企画シンポジウム：発表 10 分、総合討論 40 分
- ・ジョイントセッション 1：発表 17 分、質疑応答 3 分
- ・ジョイントセッション 2：発表 10 分、質疑応答 2 分、総合討論 20 分
- ・ジョイントセッション 3：発表 14 分（柴垣先生のみ発表 17 分）、質疑応答 3 分
- ・ジョイントセッション 4：発表 5 分、総合討論 35 分
- ・ジョイントセッション 5：発表 10 分、質疑応答 2 分
- ・ジョイントセッション 6：発表 20 分（山元先生のみ発表 10 分）、総合討論 20 分
- ・ジョイントセッション 7：発表 14 分、質疑応答 3 分
- ・パネルディスカッション 1：発表 10 分（都竹先生のみ発表 15 分）、総合討論 15 分
- ・パネルディスカッション 2：発表 12 分、質疑応答 3 分、総合討論 10 分
- ・パネルディスカッション 3：発表 20 分、質疑応答 5 分

2. 発表・討論、進行について

●座長（口演）の皆様へ

- ・各セッション開始 10 分前までに次座長席にお着きください。
- ・当日は進行のための影アナ等は設置しておりません。
セッションの時間になりましたら、速やかに開始していただきますよう、お願いいたします。
- ・各セッションの進行は座長に一任いたしますが、時間内でセッションを終了していただきますようお願いいたします。
- ・座長席のマイクの用意が 1 本となっておりますので、交互にご利用いただきますよう、お願いいたします。

●座長（ポスターセッション）の皆様へ

- ・各セッション開始 20 分前までにポスター会場の座長受付にお越しください。
- ・受付後、セッション開始 5 分前までにご担当カテゴリのポスターパネル前に待機をお願いいたします。

●演者の皆様へ

- ・各セッション開始 30 分前までに、4F PC センターにお越しいただき、発表データのご提出をお願いいたします。ご自身の PC でご発表の場合も必ず PC センターにお立ち寄りください。また、**教育講演、実技の演者、講師の先生は PC センターでの登録は不要でございます。**ご自身の PC を会場にお持ち込みいただき、講演台で繋いで投影をお願いいたします。投影の際には HDMI 出力が必要です。ご持参いただく PC から HDMI への変換コネクタが必要な場合には、各自でご用意ください。また、各自電源ケーブルもご持参ください。
セッション前に投影の確認をご希望の場合は、事前に事務局までご連絡ください。

- ・各セッション開始 10 分前までに次演者席にお着きください。
- ・質疑応答は座長の指示に従ってください。
- ・優秀演題賞候補セッションでは、最優秀演題を決定し、閉会式で表彰を行います。優秀演題賞候補セッションでのご発表者は、やむをえない事情を除き閉会式にご参加ください。

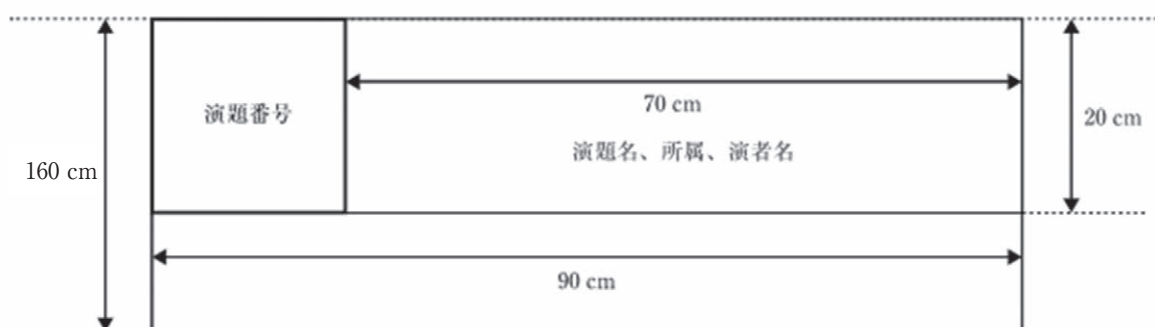
●ポスター発表について

- (1) 下記の掲示時間内にプログラムに掲載されている演題番号の指定パネルに掲示してください。

※会場へのポスター直送、事務局受取はできません、会場施設への直接のお問い合わせもご遠慮ください。

- (2) パネルの有効部分は、縦 160cm × 横 90cm です。演題名、所属、演者名は縦 20cm × 横 70cm の枠内におさめてください（図参照）。

演題番号は事務局で用意いたします。パネルへの掲示固定には画鋏をご利用ください。



- (3) 発表者はセッション開始 10 分前に、演者用リボンをつけてポスターパネルの前に待機してください。

- (4) ポスター掲示、発表、撤去時間は以下の通りです。

	掲示	発表	撤去
ポスターセッション 1	9 月 5 日 (土) 9 : 00 ~ 10 : 00	9 月 5 日 (土) 16 : 40 ~ 17 : 40	9 月 5 日 (土) 17 : 40 ~ 19 : 00
ポスターセッション 2	9 月 6 日 (日) 9 : 00 ~ 10 : 00	9 月 6 日 (日) 10 : 30 ~ 11 : 30	9 月 6 日 (日) 11 : 30 ~ 13 : 00

- (5) 時間内に撤去されないポスターは処分します。

処分ご希望の方も必ずポスターをパネルから外し、付近の床にまとめておいてください。

※ポスターケースは処分できません、必ずお持ち帰りください。

3. 発表方法

発表はすべて PC プレゼンテーションとなりますので、以下の要領をご確認の上、ご発表の 30 分前までに PC センターへお越しください。

■ Windows でデータを作成された場合：データをお持ちください

- USB フラッシュメモリに保存してご提出ください。
(DVD・FD・MO 等は受付できませんのでご注意ください。)
- OS は Windows 10、アプリケーションは PowerPoint 2021 に対応しております。
それ以外のソフトや動画が多い場合は、ご自身の PC をお持ちください。
- フォントは OS (Windows 10) 標準のもののみご用意致します。
日本語：MS ゴシック・MSP ゴシック・MS 明朝・MSP 明朝
英 語：Times New Roman・Arial・Arial Black・Arial Narrow・Century
Century Gothic・Courier・Courier New・Georgia
これ以外のフォントを使用した場合、文字・段落のずれ・文字化け・表示されない等のトラブルが発生する可能性があります。
- 液晶プロジェクターの解像度はフル HD (1,920 × 1,080dpi) まで対応しております。
- ご用意いただく USB フラッシュメモリのウイルスチェックを事前に行ってください。
- ご発表開始時刻の 30 分前までに PC センターでご発表データを試写確認のうえ、ご提出ください。
午前の最初のセッションの時間帯では PC センターが混雑しますので、お早めにお越しください。
- 発表者ツールの機能はご使用にはなれません。
- ご発表データは事務局で責任を持って消去致します。

■ Macintosh でデータを作成された場合：ご自身の PC をご持参ください

- 必ず AC アダプターをご用意ください。
- 動画もご利用いただけますが、再生できることを PC センターで必ずご確認ください。
- 利用機種・OS・アプリケーションに制限はありませんが、HDMI によるモニター出力が必要です。
ご持参いただく PC から HDMI への変換コネクタが必要な場合には、各自でご用意ください。
HDMI 以外の接続はお受けできませんので予めご了承ください。



- ご講演時は演台にあるマウス又はキーパッドにてスライドの操作をお願いいたします。操作機器の接続に USB ポートを使用するため、USB ポートがない PC をお持ちの場合は変換コネクタをご用意ください。(例：MacBook Type-C から USB 変換)
- スクリーンセーバー、ウイルスチェックならびに省電力設定は予め解除しておいてください。
- 電源ケーブルを必ずご持参ください。バッテリーでのご使用はトラブルの原因となります。
- 発表開始時刻の 30 分前までに、PC センターで試写を行ってください。PC センターならびに PC オペレーション席ではデータの修正・変更は行えません。
- 念のため、発表用データのバックアップを必ずご持参ください。
- ご持参頂く PC に保存されている貴重なデータの損失を避けるため、必ず事前にデータのバックアップを取っておいてください。
- PC をお預かり時にお渡する半券は PC 返却時に必要ですので大切に保管してください。
- 発表者ツールの機能はご使用にはなれません。
- ご講演時に原稿が必要な場合は、予め印刷してご持参ください。

4. 利益相反（COI）の開示について

当学術集会における演題発表時には、所属学会の規定に沿って、利益相反（COI）の有無を開示してください。

●□頭発表

日本臨床運動療法学会 CO I 開示 発表者：臨床太郎、運動次郎、療法三郎（◎代表者） ◎代表者 演題発表に関連し、開示すべきCO I 関係にある企業などとして ①顧問： ②株保有・利益： ③特許使用料： ④講演料： ⑤原稿料： ⑥受託研究・共同研究費： ⑦奨学金・寄付金： ⑧寄附講座所属： ⑨贈答品などの報酬：

日本臨床運動療法学会 CO I 開示 発表者：臨床太郎、運動次郎、療法三郎（◎代表者） ◎代表者 演題発表に関連し、開示すべきCO I 関係にある企業などはありません。

●ポスター発表

発表者：臨床太郎（◎代表者）、運動次郎、療法三郎 【利益相反の開示】 本研究に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などは以下の通りです。 <table><tr><td>受託研究・共同研究費：</td><td>〇〇製薬</td></tr><tr><td>奨学金・寄付金：</td><td>××製薬</td></tr><tr><td>寄附講座所属：</td><td>あり（△△製薬）</td></tr></table>	受託研究・共同研究費：	〇〇製薬	奨学金・寄付金：	××製薬	寄附講座所属：	あり（△△製薬）
受託研究・共同研究費：	〇〇製薬					
奨学金・寄付金：	××製薬					
寄附講座所属：	あり（△△製薬）					

発表者：臨床太郎（◎代表者）、運動次郎、療法三郎 【利益相反の開示】 本研究に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

単位取得可能な資格

① 健康運動指導士、実践指導者

第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会は、健康運動指導士及び健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位として下記の単位が認められます。健康運動指導士証及び健康運動実践指導者証をご持参ください。

「講義」の単位は学会の参加で 3 単位が取得可能です。(認定番号：266533)

単位を申請される方は受付にて、受付用紙に氏名、登録番号をご記載いただき、受講証明書をお受け取りください。

「実習」の単位は以下のセッションで取得可能です。(認定番号：266534)

- ・ 開始時に配布する受付用紙に氏名、登録番号をご記載いただき、終了時に受講証明書をお受け取りください。
- ・ 開始 10 分後以降に来られた場合、途中退席された場合は受講証明書の付与ができないことがございますのでご了承ください。
- ・ 実技実習の服装は普段着でかまいません。

【対象セッション】

a) 実技 1 (1.5 単位)

9 月 5 日 (土) 14:00 ~ 15:30 実技会場 (富士桜 A)

「心肺運動負荷試験の理論と実際 -JHC 共催 CPX Live demonstration 1 - (初級編)」

講師：伊東 春樹 (榎坂上医科歯科クリニック 循環器内科)

田嶋 明彦 (新潟薬科大学医療技術学部 循環生理学)

前田 知子 (榊原記念病院附属クリニック 検査科)

b) 実技 2 (3.1 単位)

9 月 6 日 (日) 9:00 ~ 12:05 実技会場 (富士桜 A)

「高齢患者や心疾患患者に対するレジスタンストレーニングの実際」

講師：高橋 哲也 (順天堂大学保健医療学部理学療法学科)

「心肺運動負荷試験の理論と実際 -JHC 共催 CPX Live demonstration 2 - (中級編)」

講師：伊東 秀崇 (虎の門病院 循環器内科)

前田 知子 (榊原記念病院附属クリニック 検査科)

② 心臓リハビリテーション指導士

【対象セッション】

実技 2 (2 単位)

9 月 6 日 (日) 9:00 ~ 12:05 実技会場 (富士桜 A)

「高齢患者や心疾患患者に対するレジスタンストレーニングの実際」

「心肺運動負荷試験の理論と実際 -JHC 共催 CPX Live demonstration 2 - (中級編)」

単位取得を希望される方は、受講前に配布する受付用紙に氏名、ご所属をご記入いただき、終了時に受講証明書をお受け取りください。

③ 日本医師会認定健康スポーツ医

下記セッションは、資格更新のための単位として健康スポーツ医の再研修単位が取得できます。

セッション開始時に配布する受付用紙に必要事項をご記載いただき、セッション終了後にスタッフにお渡しください。

【対象セッション】

a) シンポジウム 2 (1 単位)

9 月 5 日 (土) 11:20 ~ 12:30 第Ⅱ会場 (赤松 A)

「Life-Course Sports Medicine: Beyond Limits」

- b) シンポジウム 3 (1 単位)
9 月 5 日 (土) 14:50 ~ 16:00 第 I 会場 (赤松 B)
「運動療法を継続戦略」
- c) 実技 1 (1 単位)
9 月 5 日 (土) 14:00 ~ 15:30 実技会場 (富士桜 A)
「心肺運動負荷試験の理論と実際 -JHC 共催 CPX Live demonstration 1 - (初級編)」
- d) 実技 2 (3 単位)
9 月 6 日 (日) 9:00 ~ 12:05 実技会場 (富士桜 A)
「高齢患者や心疾患患者に対するレジスタンストレーニングの実際」
「心肺運動負荷試験の理論と実際 -JHC 共催 CPX Live demonstration 2 - (中級編)」

④ 運動負荷検査士

下記セッションは運動負荷検査士資格更新のための単位が取得できます。
単位取得を希望される方は、受講前に配布する受付用紙に氏名、ご所属をご記入いただき、終了時に受講証明書をお受け取りください。

【対象セッション】

- a) 実技 1 (5 単位)
9 月 5 日 (土) 14:00 ~ 15:30 実技会場 (富士桜 A)
「心肺運動負荷試験の理論と実際 -JHC 共催 CPX Live demonstration 1 - (初級編)」
- b) 実技 2 (5 単位)
9 月 6 日 (日) 9:00 ~ 12:05 実技会場 (富士桜 A)
「高齢患者や心疾患患者に対するレジスタンストレーニングの実際」
「心肺運動負荷試験の理論と実際 -JHC 共催 CPX Live demonstration 2 - (中級編)」

⑤ 東京糖尿病療養指導士、東京糖尿病療養支援士 (3 単位)

第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会は東京糖尿病療養指導士、東京糖尿病療養支援士の認定更新のための単位 (東京 CDE・CDS 3 単位) が取得可能です。ご自身で本学術集会の参加証明書を東京糖尿病療養指導士認定機構にご提出のうえ、ご申請ください。

⑥ 日本糖尿病学会 専門医

第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会に参加された方は、日本糖尿病学会の専門医の更新時に必要な単位 (3 単位) の申請が可能です。ご参加された方は、本学術集会の参加証明書を日本糖尿病学会にご提出のうえ、単位申請をお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、下記リンクよりお問い合わせをお願いします。

▼日本糖尿病学会 専門医関連のお問い合わせについて

https://www.jds.or.jp/modules/specialist/index.php?content_id=138

⑦ 腎臓リハビリテーション指導士

第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会は、日本腎臓リハビリテーション学会が指導士資格更新の単位として認定する学術集会です。

本学術集会への参加 (5 単位)、および腎臓リハビリテーションに関連する主演者としての発表 (5 単位) は、指導士資格更新の単位として認められます。

更新手続き時の自己申告には、本学術集会の参加証明書や抄録等のコピーが証拠書類として必要となります。ご自身の更新時期まで大切に保管くださいますようお願い申し上げます。

資格更新の条件や手続きについては、日本腎臓リハビリテーション学会のウェブサイトをご覧ください。

https://jsrr.smoosy.atlas.jp/ja/instructor_renewal_3

⑧ 認定管理栄養士・認定栄養士

第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会に参加された方は、認定管理栄養士・認定栄養士の単位の申請が可能です。

ご自身で本学術集会の参加証明書を日本栄養士会にご提出のうえ、ご申請ください。

日程表 第1日 9月5日(土)

	第Ⅰ会場 赤松 B	第Ⅱ会場 赤松 A	第Ⅲ会場 山百合	実技会場 富士桜 A	ポスター会場 富士桜 B
8:00					
9:00	8:50-9:00 開会				
9:00-10:00	シンポジウム 1 がん治療における運動・ 身体活動のエビデンス 座長：牧田 茂、鶴川 俊洋 演者：角田 卓也、辻 哲也 街 勝憲	9:00-10:20 ジョイントセッション 1 呼吸器疾患治療の必須アイテム ー運動療法の意義と実際ー 座長：黒澤 一、伊藤 修 演者：東本 有司、佐野 裕子 宮崎 博子、岡崎 達馬	9:00-9:30 教育講演 1 運動療法の基礎研究 座長：大宮 一人、演者：高田 真吾		
10:00	10:05-11:15 ジョイントセッション 2 運動を社会に届ける力： EIM Japan と企業の挑戦 座長：木村 稔、森山 善文 演者：日浦 幹夫、藤崎 淳矢 齋藤 光、熊崎 嘉月 EIM Japan 合同企画	日本呼吸ケア・リハビリテー ション学会合同企画	9:40-10:10 教育講演 2 女性の健康と運動 座長：紺野久美子、演者：能瀬さやか		
11:00	11:20-12:30 パネルディスカッション 2 運動と栄養 座長：沖田 孝一、町田あゆみ 演者：沖田 孝一、黒澤 裕子 池田 崇、中村 晃洋	10:25-11:15 パネルディスカッション 1 運動療法とwell-being~何をどう評価するか？ 座長：太田 玉紀、佐藤 真治 演者：都竹 茂樹、鈴木 春菜 石塚 亮平	10:20-10:50 教育講演 3	最新ガイドラインのアップデート： 運動療法に関わる重要事項の総整理 座長：津下 一代 演者：澤田 亨	
12:00	12:40-13:30 ランチョンセミナー 1 進化と尿酸と腎傷害 座長：木庭 新治 演者：寺脇 博之 共催：持田製薬株式会社	11:20-12:30 シンポジウム 2 Life-Course Sports Medicine: Beyond Limits 座長：中嶋 耕平、牧田 茂 演者：能瀬さやか、友利 杏奈 藤原 清香、鶴川 俊洋	11:00-11:30 教育講演 4 重複障害のリハビリテーション 座長：上月 正博、演者：佐藤 聡見		
13:00	13:40-14:10 理事長講演	12:40-13:30 ランチョンセミナー 2 遠隔心臓リハビリテーションの現在地と展望 座長：古川 裕 演者：磯 良崇 共催：株式会社リモハブ	11:40-12:10 教育講演 5 デジタルデバイスと運動療法 座長：元山 宏華、演者：坂根 直樹		
14:00	14:15-14:45 会長講演	運動療法・身体活動における未解決の 課題と日本臨床運動療学会の進路 座長：有田 幹雄 演者：後藤 葉一		14:00-15:30 実技 1 心肺運動負荷試験の理論と 実際 -JHC 共催 CPX Live demonstration 1-(初級編) 講師：伊東 春樹 田嶋 明彦 前田 知子 共催：NPO 法人ジャパン ハートクラブ	
15:00	14:50-16:00 シンポジウム 3 運動療法を継続戦略 座長：上月 正博、木村 稔 演者：小熊 祐子、横山 美帆 中田 由夫、渡辺 弘司 北村 匡大	14:50-16:10 優秀演題賞候補セッション 座長：磯 良崇 今井 優 審査委員長：磯 良崇 審査員：深尾 宏祐 根本 慎司 石黒 創 佐藤 聡見 宮内 拓史 金澤 正範 白石 裕 田村 好史	14:50-15:20 教育講演 6 認知機能への運動療法の効果 座長：古川 裕、演者：日浦 幹夫		身体活動・健康増進 1 座長：濱 知明、黒瀬 聖司 心臓・呼吸器疾患 1 座長：横田 裕哉、熊坂 礼音 がん 座長：磯 良崇、近藤 和夫 高齢者 座長：高波 嘉一、朽木 勤 神経・女性・社会医学 座長：庄野菜穂子、小川 佳子
16:00	16:10-17:40 特別企画シンポジウム 医療と運動の融合、そして社会 実装へ～学会連携で高める運 動・身体活動のプレゼンス～ 座長：後藤 葉一、永富 良一 演者：後藤 葉一、永富 良一 津下 一代、上條義一郎 小熊 祐子	16:20-17:40 ジョイントセッション 3 慢性腎臓病の運動療法 座長：伊藤 修、三浦 美佐 演者：柴垣 有吾、本田 浩一 佐藤 聡見、中野 晴香 日本腎臓リハビリテーション 学会合同企画	15:30-16:00 教育講演 7 筋力か筋量か 座長：中島 敬明、演者：真田 樹義		
17:00			16:10-16:40 教育講演 8 小児期におけるスポーツの効 用：将来疾病対策と情緒発育 座長：坂本 静男 演者：友利 杏奈		16:40-17:40 一般演題ポスターセッション 1
18:00			17:40-18:10 評議員会	18:15-19:30 懇親会	

日程表 第2日 9月6日(日)

	第Ⅰ会場 赤松 B	第Ⅱ会場 赤松 A	第Ⅲ会場 山百合	実技会場 富士桜 A	ポスター会場 富士桜 B
8:00					
8:30-8:50	総会				
9:00	9:00-10:10 ジョイントセッション 4 JAETP+JMFS 大喜利！運動処方箋を読み解く 座長：佐藤 真治、太田 玉紀 演者：神谷 具巳、尾関 拓也 山下 亮、三上 健太 石川 光希、村上 光世 日本メディカルフィットネス研究会合同企画	9:00-10:15 ジョイントセッション 5 糖尿病最新運動療法； 基礎研究から臨床実践 座長：細井 雅之、野村 卓生 演者：河野 健一、村松 憲 藤田 直人、大坂 貴史 岩部 真人、元山 宏華 日本糖尿病学会合同企画	9:10-9:40 教育講演 9 ARCS 動機づけモデルを活用した行動変容支援 座長：小熊 祐子、演者：都竹 茂樹	9:00-12:05	
10:00			9:45-10:15 教育講演 10 臨床運動療法におけるマインドフルネスの可能性 座長：下光 輝一、演者：梅田 陽子	実技 2 高齢患者や心疾患患者に 対するレジスタンス レーニングの実践 講師：高橋 哲也 心肺運動負荷試験の理論と 実際 -JHC 共催 CPX Live demonstration 2 -(中級編) 講師：伊東 秀崇 前田 知子 共催：NPO 法人ジャパンハートクラブ	
11:00	10:20-11:30 ジョイントセッション 6 社会的処方と運動療法の交差点～運動に 関連する社会資源活用について考える 座長：濱井 彩乃、佐藤 真治 演者：近藤 慶太、平沼 仁実 山元佐和子 日本プライマリ・ケア連合学会合同企画	10:20-11:30 シンポジウム 4 メディカルフィットネスは社会に根づくのか？ ・医療・介護をつなぐ運動療法の現実と課題 座長：二階堂 暁、田嶋 明彦 演者：行光 望、中村 洋貴 村上 光世	10:20-10:50 教育講演 11 運動療法のサイエンス最前線！ 座長：横山 美帆、演者：中田 由夫		10:30-11:30 一般演題ポスターセッション 2
			10:55-11:25 教育講演 12 体重支持力の評価（体 重支持指数：VBI）の 運動療法への臨床応用 座長：牧田 茂 演者：山本 利春		
12:00	11:40-12:30 ランチョンセミナー 3 回復期心臓リハビリテーション普及のた めに～心血管疾患における遠隔リハビ リテーションに関するステートメント～ 座長：新家 敏郎 演者：牧田 茂 共催：株式会社 CaTe	11:40-12:30 ランチョンセミナー 4 酸素利用率の最適化は可能か？ケンフェ ロールが拓く運動療法の新たなパラダイム 座長：坂本 静男、演者：沖田 孝一 共催：大塚製薬株式会社	12:40-13:10 教育講演 13 肥満の運動療法 座長：細井 雅之、演者：石井好二郎		基礎研究・運動生理 座長：宮脇 大、越智 英輔 身体活動・健康増進 2 座長：長阪 裕子、宮澤 僚 心臓・呼吸器疾患 2 座長：田代 尚範、福田 平 心臓・呼吸器疾患 3 座長：大堀 克彦、安達 太郎 腎・代謝疾患 座長：田村 由馬、岩田健太郎 脳神経・運動器 座長：小山 照幸、吉川 貴仁
13:00	13:00-13:50 パネルディスカッション 3 リアルワールドでの運動療法 座長：佐藤 真治 演者：檜垣 靖樹 都竹 茂樹	12:40-13:50 ジョイントセッション 7 心血管疾患における骨格筋 の役割と運動療法の最前線 実践と最新のエビデンス 座長：三浦伸一郎 安達 仁 演者：泉家 康宏 石坂 勇人 松田 拓朗 井澤 和太 日本リハビリテーション学会 合同企画	13:20-13:50 教育講演 14 体重減少の薬のイロハ 座長：曽根 博仁 演者：加賀 英義		
14:00	13:50-14:00 閉会式				
15:00					
16:00					
17:00					
18:00					

第 1 日目 9 月 5 日 (土)

第 I 会場：昭和医科大学 上條記念館 赤松 B
第 II 会場：昭和医科大学 上條記念館 赤松 A
第 III 会場：昭和医科大学 上條記念館 山百合
実技会場：昭和医科大学 上條記念館 富士桜 A
ポスター会場：昭和医科大学 上條記念館 富士桜 B

開会

8:50-9:00 第 I 会場

シンポジウム 1

9:00-10:00 第 I 会場

がん治療における運動・身体活動のエビデンス

座長：牧田 茂（川口きゅうぼろリハビリテーション病院 リハビリテーション科）
鶴川 俊洋（鹿児島市立病院 リハビリテーション科）

- S1-1 CT で分かるあなたの免疫能
—免疫チェックポイント阻害薬の臨床効果と腸腰筋インデックスの研究から—
角田 卓也（昭和医科大学医学部 腫瘍内科 特任教授 / 昭和医科大学 統括がん情報センター
センター長）
- S1-2 がんのリハビリテーション診療最前線～運動療法を中心に
辻 哲也（慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室）
- S1-3 がん治療における運動の意義
街 勝憲（国立がん研究センターがん対策研究所）

ジョイントセッション 2

10:05-11:15 第 I 会場

運動を社会に届ける力：EIM Japan と企業の挑戦

座長：木村 穰（関西医科大学 健康科学センター）
森山 善文（偕行会 名古屋共立病院 ウェルネスセンター）

EIM Japan 合同企画

- JS2-1 EIM Japan の活動紹介と今後の展望：国際交流を中心に
日浦 幹夫（青森大学 脳と健康科学研究センター）
- JS2-2 PHR アプリ利用による生活習慣病の重症化予防の効果検証
藤崎 淳矢（コガソフトウェア株式会社 EIM サービス部 部長 / 関西医科大学 研究員）
- JS2-3 高齢女性の運動支援と地域での展開
齋藤 光（株式会社カーブスジャパン）
- JS2-4 運動実施困難者に対する新たな運動支援の可能性
—エビデンスに基づく家庭用 EMS 機器の臨床応用と社会実装—
熊崎 嘉月（株式会社 MTG WELLNESS 事業本部 SIXPAD メディカル部）

パネルディスカッション 2		11:20-12:30 第 I 会場
運動と栄養		座長：沖田 孝一（北翔大学） 町田あゆみ（昭和医科大学病院 栄養科）

- PD2-1 運動を楽にするポリフェノール
沖田 孝一（北翔大学）
- PD2-2 クレアチン：生体における機能とその応用
黒澤 裕子（東京医科大学健康増進スポーツ医学分野）
- PD2-3 効率的な機能とパフォーマンス改善に向けた運動療法と栄養療法のマッチング
池田 崇（名古屋市立大学 医学部 保健医療学科 リハビリテーション学専攻）
- PD2-4 栄養の立場から見た運動療法の継続支援
中村 晃洋（広島国際大学 健康科学部 医療栄養学科）

ランチョンセミナー 1		12:40-13:30 第 I 会場
座長：木庭 新治（昭和医科大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門 教授）		

- LS1 進化と尿酸と腎傷害
寺脇 博之（聖路加国際大学聖路加国際病院 臨床検査科 部長 / 福島県立医科大学 先端地域生活習慣病治療講座 特任教授）

共催：持田製薬株式会社

理事長講演		13:40-14:10 第 I 会場
座長：有田 幹雄（角谷リハビリテーション病院 循環器内科）		

- DL 運動療法・身体活動における未解決の課題と日本臨床運動療学会の進路
後藤 葉一（北大阪ほうせんか病院）

会長講演		14:15-14:45 第 I 会場
座長：後藤 葉一（北大阪ほうせんか病院 副院長）		

- PL Exercise therapy beyond diseases - keep Physical Activity for Health and Life -
木庭 新治（昭和医科大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門）

シンポジウム 3		14:50-16:00 第 I 会場
運動療法を継続戦略		座長：上月 正博（公立大学法人山形県立保健医療大学 保健医療学部） 木村 穰（関西医科大学 健康科学センター）

- S3-1 国の身体活動推進政策と自治体での取り組み
小熊 祐子（慶應義塾大学スポーツ医学研究センター・大学院健康マネジメント研究科）
- S3-2 医療から地域へ繋ぐライフスタイルチェンジの提案
～運動療法を「継続」させるための多職種連携と今後の展望～
横山 美帆（順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学 / 順天堂大学医学部附属順天堂医院 健康スポーツ室）
- S3-3 職域でのアクティブガイドの活用
中田 由夫（筑波大学体育系）

S3-4 学校保健における運動教育～日本医師会・文部科学省等の活動・施策

渡辺 弘司（日本医師会常任理事）

S3-5 地域在住・通所利用高齢者における座位行動への介入戦略

北村 匡大（令和健康科学大学リハビリテーション学部理学療法学科）

特別企画シンポジウム

16:10-17:40 第Ⅰ会場

医療と運動の融合、そして社会実装へ

～学会連携で高める運動・身体活動のプレゼンス～

座長：後藤 葉一（北大阪ほうせんか病院、日本臨床運動療法学会）

永富 良一（東北大学 産学連携機構イノベーション戦略推進センター特任教授、日本体力医学会）

SP-1 日本社会に運動療法・身体活動を広範に普及させるための学会連携

後藤 葉一（北大阪ほうせんか病院、日本臨床運動療法学会）

SP-2 運動・身体活動のエビデンスと医療

永富 良一（東北大学 産学連携機構イノベーション戦略推進センター特任教授、日本体力医学会）

SP-3 ハイパフォーマンスからライフパフォーマンスへ
～日本臨床スポーツ医学会の視点から～

津下 一代（日本栄養大学、日本臨床スポーツ医学会）

SP-4 「活動」を軸としたリハビリテーション医学・医療による生活期への接続と社会保障制度の拡張への貢献

上條義一郎（獨協医科大学埼玉医療センター・リハビリテーション科、日本リハビリテーション医学会）

SP-5 予防・医療・地域をつなぐランドデザイン～個人の行動変容から社会システムの変革へ～

小熊 祐子（慶應義塾大学スポーツ医学研究センター・大学院健康マネジメント研究科、日本運動疫学会、日本運動療法学会）

ジョイントセッション 1

9:00-10:20 第Ⅱ会場

呼吸器疾患治療の必須アイテム ―運動療法の意義と実際―

座長：黒澤 一（東北大学 環境・安全推進センター）

伊藤 修（東北医科大学薬科大学医学部 リハビリテーション学）

日本呼吸ケア・リハビリテーション学会合同企画

JS1-1 呼吸器疾患における運動療法のエビデンス

東本 有司（近畿大学医学部リハビリテーション医学教室）

JS1-2 呼吸器疾患における非監視下運動療法と身体活動支援

―外来・在宅でのセルフマネジメントを中心に―

佐野 裕子（順天堂大学大学院 医療看護学研究科 臨床病態学分野 リハビリテーション系）

JS1-3 呼吸器疾患超急性期の運動療法

～ 安全に確実に離床を進め患者の自立回復を促進するために ～

宮崎 博子（京都桂病院 リハビリテーションセンター）

JS1-4 高齢者の呼吸器疾患の運動療法

岡崎 達馬（東北大学大学院 医学系研究科 機能医科学講座 臨床障害学分野）

パネルディスカッション 1	10:25-11:15 第Ⅱ会場
運動療法と well-being ～何をどう評価するか？	
座長：太田 玉紀（猫山宮尾病院 内科） 佐藤 真治（帝京大学 医療技術学部）	

- PD1-1 ウェルビーイング評価の現在地
都竹 茂樹（大阪大学 健康スポーツ科学教育研究環）
- PD1-2 社会的処方を支える AI によるウェルビーイング評価の可能性
鈴木 春菜（ViZO 株式会社 経営企画室長）
- PD1-3 対話型 AI との会話ログを用いたウェルビーイング評価の試み
石塚 亮平（帝京大学大学院 公衆衛生学研究科）

シンポジウム 2	11:20-12:30 第Ⅱ会場
Life-Course Sports Medicine: Beyond Limits	
座長：中嶋 耕平（国立スポーツ科学センター 整形外科） 牧田 茂（川口きゅうぼろリハビリテーション病院 リハビリテーション科）	

- S2-1 ライフステージから考える女性の健康と運動
能瀬さやか（ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター スポーツ医学研究部門 産婦人科）
- S2-2 地域ジュニアアスリートにおける心身の健康課題とライフコースを見据えた医科学的サポート
友利 杏奈（国立スポーツ科学センター スポーツ医学研究部門）
- S2-3 障害のある子どものスポーツ支援：参加をひらく環境づくりと医療の役割
藤原 清香（東京大学附属病院 リハビリテーション科）
- S2-4 先天性心疾患患者の身体活動支援に向けた心肺運動負荷試験の活用
鶴川 俊洋（鹿児島市立病院リハビリテーション部）

ランチョンセミナー 2	12:40-13:30 第Ⅱ会場
座長：古川 裕（神戸市立医療センター中央市民病院 循環器内科）	

- LS2 遠隔心臓リハビリテーションの現在地と展望
磯 良崇（昭和医科大学藤が丘病院 循環器内科）

共催：株式会社リモハブ

優秀演題賞候補セッション		14:50-16:10 第Ⅱ会場
座長：磯	良崇（昭和医科大学藤が丘病院 循環器内科）	
今井	優（医仁会武田総合病院 疾病予防センター）	
審査委員長：磯	良崇（昭和医科大学藤が丘病院 循環器内科）	
審査員：深尾	宏祐（順天堂大学 スポーツ健康科学部）	
根本	慎司（昭和医科大学 保健医療学部 リハビリテーション学科）	
石黒	創（新潟大学 医学部血液内分泌代謝内科）	
佐藤	聡見（福島県立医科大学 保健科学部 理学療法学科）	
宮内	拓史（関西医科大学附属病院 健康科学センター）	
金澤	正範（岩手県立胆沢病院 循環器内科・リハビリテーション科）	
白石	裕一（京都府立医科大学 循環器内科）	
田村	好史（順天堂大学大学院医学研究科）	

- EO-1 身体活動量と糖尿病の有無が認知機能および海馬体積に及ぼす影響：Bunkyo Health Study
森 亮貴（順天堂大学大学院 医学研究科 代謝内分泌内科学）
- EO-2 指定運動療法施設における運動療法処方箋発行が利用継続に与える影響
－ 157 名を対象とした縦断的検討－
斉藤 拓真（株式会社 SHARE MEDICAL FITNESS 北 6 条）
- EO-3 握力体重比による心房細動発症予測の縦断的検討
佐藤 隆明（新潟大学病院 血液・内分泌代謝内科）
- EO-4 若年健常成人における心肺運動負荷試験中の脳酸素化動態と呼吸循環動態の関連および運動強度による変化
太田 悠介（順天堂大学大学院 保健医療学研究科 / 神戸市立医療センター中央市民病院 リハビリテーション技術部）
- EO-5 睡眠効率と身体活動量の組み合わせと軽度認知機能障害との関連：Bunkyo Health Study
ホウウチョン（順天堂大学大学院 医学研究科 スポーツ医学・スポーツロジック）

ジョイントセッション 3		16:20-17:40 第Ⅱ会場
慢性腎臓病の運動療法	座長：伊藤 修（東北医科薬科大学医学部 リハビリテーション学） 三浦 美佐（筑波技術大学保健科学部 理学療法学コース）	

日本腎臓リハビリテーション学会合同企画

- JS3-1 腎臓病・透析患者に対する腎臓リハビリテーション（総論）
柴垣 有吾（聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科）
- JS3-2 保存期 CKD 患者の運動療法の効果
本田 浩一（昭和医科大学大学院医学研究科腎臓内科学分野）
- JS3-3 保存期 CKD 患者における至適運動療法
佐藤 聡見（福島県立医科大学 保健科学部理学療法学科）
- JS3-4 透析中運動療法による予後改善の可能性
－本邦における長期後ろ向き観察研究からのエビデンス－
中野 晴香（医療法人偕行会 名古屋共立病院リハビリテーション部）

教育講演 1 **9:00-9:30 第Ⅲ会場**

運動療法の基礎研究

座長：大宮 一人（島津メディカルクリニック）

- EL1 心不全における骨格筋異常のサイエンス：
ミトコンドリアを標的とした運動療法・代替療法の最前線
高田 真吾（北翔大学）

教育講演 2 **9:40-10:10 第Ⅲ会場**

女性の健康と運動

座長：紺野久美子（帝京大学 医学部）

- EL2 妊娠期・産後のスポーツ
能瀬さやか（ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター
スポーツ医学研究部門 産婦人科）

教育講演 3 **10:20-10:50 第Ⅲ会場**

最新ガイドラインのアップデート：運動療法に関わる重要事項の総整理

座長：津下 一代（日本栄養大学 栄養学部）

- EL3 運動療法に関するガイドラインで紹介されている推奨値の背景とエビデンス
澤田 亨（早稲田大学 スポーツ科学学術院）

教育講演 4 **11:00-11:30 第Ⅲ会場**

重複障害のリハビリテーション

座長：上月 正博（公立大学法人山形県立保健医療大学 保健医療学部）

- EL4 重複障害に対するリハビリテーション
—臓器連関を軸とした運動療法戦略—
佐藤 聡見（福島県立医科大学 保健科学部理学療法学科）

教育講演 5 **11:40-12:10 第Ⅲ会場**

デジタルデバイスと運動療法

座長：元山 宏華（大阪市立総合医療センター 糖尿病・内分泌内科）

- EL5 デジタルデバイスと運動療法
坂根 直樹（国立病院機構京都医療センター）

教育講演 6 **14:50-15:20 第Ⅲ会場**

認知機能への運動療法の効果

座長：古川 裕（神戸市立医療センター中央市民病院 循環器内科）

- EL6 認知機能への運動療法の効果（疾患を対象とした運動処方および運動介入研究のエビデンスからの考察）
日浦 幹夫（青森大学 脳と健康科学研究センター）

教育講演 7	15:30-16:00 第Ⅲ会場
筋力か筋量か	座長：中島 敏明（獨協医科大学 加圧トレーニング医学講座）

- EL7 筋力か筋量か
～サルコペニアとダイナペニアに着目して～
真田 樹義（立命館大学スポーツ健康科学部）

教育講演 8	16:10-16:40 第Ⅲ会場
小児期におけるスポーツの効用：将来疾病対策と情緒発育	座長：坂本 静男（早稲田大学名誉教授 スポーツ科学学術院）

- EL8 ジュニアアスリートの健やかな成長と情緒発育を守る：ハイパフォーマンス 領域の知見を日常臨床へ
友利 杏奈（国立スポーツ科学センター スポーツ医学研究部門）

評議員会	17:40-18:10 第Ⅲ会場
-------------	-------------------------

実技 1	14:00-15:30 実技会場
-------------	-------------------------

- 心肺運動負荷試験の理論と実際
-JHC 共催 CPX Live demonstration 1 -（初級編）
伊東 春樹（樺坂上医科歯科クリニック 循環器内科）
田嶋 明彦（新潟薬科大学医療技術学部 循環生理学）
前田 知子（榊原記念病院附属クリニック 検査科）

共催：NPO 法人ジャパンハートクラブ

懇親会	18:15-19:30 実技会場
------------	-------------------------

一般演題ポスターセッション 1	16:40-17:40 ポスター会場
身体活動・健康増進 1	座長：濱 知明（東京医科大学病院 循環器内科） 黒瀬 聖司（大阪産業大学 スポーツ健康学部）

- P-01 小田原市の医療機関における運動無関心層への介入プロセスと完遂要因
富田 エミ（常葉大学）
- P-02 医療機関との連携による指定運動療法施設の介入効果 - 保険下のリハビリ終了後に歩行能力が改善した一症例 -
中島 大知（株式会社 SHARE MEDICALFITNESS 北 6 条）
- P-03 心血管疾患の二次予防を目指した地域啓発活動の実践報告
—あおば心臓リハビリテーション教室の取り組み—
宮澤 僚（昭和医科大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 / 昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター）
- P-04 地域在住高齢者に対する吸気筋トレーニングと全身運動の実践報告：呼吸筋力と身体機能における関連性の検討
中村 洋貴（社会医療法人 高清会 高井病院 リハビリテーション科）

- P-05 文京区民を対象にした順天堂大学医学部附属順天堂医院健康スポーツ室による健康イベント実施報告
山下 麻弓（順天堂大学医学部附属順天堂健康スポーツ室）

一般演題ポスターセッション 1		16:40-17:40	ポスター会場
心臓・呼吸器疾患 1		座長：横田 裕哉（昭和医科大学循環器内科） 熊坂 礼音（あやせ循環器リハビリ病院 循環器内科）	

- P-06 10年以上継続した維持期心リハ症例における運動耐容能の10年間の長期変化
伊場 弘晟（北海道循環器病院 心臓リハビリセンター）
- P-07 患者主体の行動変容を促す支援プロセスの構築 ―健康運動指導士による外来CRでの試み―
村上 里美（八王子みなみ野心臓リハビリテーションクリニック）
- P-08 心不全患者の入院初期 Phase angle と1週間後 SPPB の関連
浅野 樹彦（関西医科大学附属病院 リハビリテーション科 / 関西医科大学大学院 医学研究科医用工学分野）
- P-09 低運動耐容能の心疾患患者に対する維持期外来心臓リハビリテーションによる運動耐容能への効果の検討
宗岡 航平（昭和医科大学病院 リハビリテーションセンター）
- P-10 心血管疾患入院患者において Phase angle は血清 GDF-15 濃度と逆相関を示す
福田 平（人間総合科学大学 人間科学部 健康栄養学科）

一般演題ポスターセッション 1		16:40-17:40	ポスター会場
がん		座長：磯 良崇（昭和医科大学藤が丘病院 循環器内科） 近藤 和夫（日本医療大学 保健医療学部リハビリテーション学科）	

- P-11 乳がん薬物治療初期患者における低運動耐容能の特徴：心肺運動負荷試験を用いた検討
長田 知恭（昭和医科大学藤が丘病院 循環器内科）
- P-12 初診からがん治療開始までの待機期間を治療準備期間へ変える初診時からの運動・栄養療法の意義
勝島 詩恵（関西医科大学病院 健康科学センター / 関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学講座）
- P-13 心リハカンファレンスを介した腫瘍循環器患者への外来心リハ導入
加藤 洋志（昭和医科大学藤が丘病院 リハビリテーション室）
- P-14 がん治療を行いながら心臓リハビリテーションを継続した患者への支援の一例
大塚江里子（昭和医科大学病院 看護部）
- P-15 がん治療関連心機能障害患者における心臓リハビリテーションの身体機能に対する効果の検討
松本 有祐（昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター）

一般演題ポスターセッション 1		16:40-17:40	ポスター会場
高齢者		座長：高波 嘉一（大妻女子大学 家政学部食物学科栄養学研究室） 朽木 勤（兵庫大学 健康科学部健康スポーツ学科）	

- P-16 運動施設に通う高齢者を対象とした独自の音楽付きパタカラ体操が自主運動実施回数に与える影響
平林 克之（医療法人社団涓泉会 ウェルネスジム山王）

- P-17 高齢糖尿病患者における 5 年後のサルコペニア新規発症に関わる因子の検討
大坂 貴史（綾部市立病院 内分泌・糖尿病内科 / 京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学）
- P-18 個別性に合わせた多様な運動指導は高齢者のバランス能力を維持改善させる
玉置 昭平（川崎医科大学高齢者医療センター フレイルセンター）
- P-19 通所リハビリテーション利用者における起立負荷時自律神経活動とサルコペニアとの関連
森井 裕太（関西医科大学くずは病院 リハビリテーションセンター / 関西医科大学 大学院医学研究科 健康科学）
- P-20 東日本大震災を経験した高齢者における首尾一貫感覚（SOC）とフレイルの関連
任 禹龍（法政大学 大学院 スポーツ健康学研究科）

一般演題ポスターセッション 1		16:40-17:40 ポスター会場
神経・女性・社会医学		座長：庄野菜穂子（西九州大学 健康福祉学部 スポーツ健康福祉学科） 小川 佳子（東北医科薬科大学病院 リハビリテーション科）

- P-21 VR を用いたヨガ療法が自律神経反応に及ぼす影響：自験例による予備的検討
樋口 弘正（獨協医科大学 日光医療センター リハビリテーション部）
- P-22 日本人成人における瘦身願望の逆説と摂食障害リスク
安田 智洋（聖隷クリストファー大学）
- P-23 疾病予防運動施設および健康増進施設における顧客ロイヤリティの決定要因：NPS® を用いた比較分析
神谷 具巳（医療法人社団和風会 メディカルフィットネス事業部 / 国際医療福祉大学大学院 医療福祉経営専攻医療経営管理分野）
- P-24 医師の運動処方に基づく理学療法士主導の運動支援体制構築と展望—スポーツジム・柔道場新設を通して—
吉川 智美（社会医療法人蘇西厚生会まつなみリサーチパーク）
- P-25 JHC 認定トレーナー講座における職種別の受講効果と行動変容 ～健康運動指導士とコメディカルの比較～
富田 エミ（常葉大学）

第2日目 9月6日(日)

第Ⅰ会場：昭和医科大学 上條記念館 赤松 B
 第Ⅱ会場：昭和医科大学 上條記念館 赤松 A
 第Ⅲ会場：昭和医科大学 上條記念館 山百合
 実技会場：昭和医科大学 上條記念館 富士桜 A
 ポスター会場：昭和医科大学 上條記念館 富士桜 B

総会

8:30-8:50 第Ⅰ会場

ジョイントセッション 4

9:00-10:10 第Ⅰ会場

JAETP+JMFS 大喜利！運動処方箋を読み解く 座長：佐藤 真治（帝京大学 医療技術学部）
 太田 玉紀（猫山宮尾病院 内科）

日本メディカルフィットネス研究会合同企画

- JS4-1 メディカルフィットネスにおける運動処方箋の意義と、社会実装にむけた要点整理
 神谷 具巳（医療法人社団和風会メディカルフィットネス事業部）
- JS4-2 健康度評価に基づく運動処方作成の実際と課題
 —安全性・個別性・効率化の視点から—
 尾関 拓也（あいち健康の森健康科学総合センター）
- JS4-3 簡素化した運動処方箋を用いた当センターの取り組み
 山下 亮（熊本健康・体力づくりセンター）
- JS4-4 循環器病院が運営するメディカルフィットネスにおける運動処方箋
 三上 健太（岩槻南メディカルフィットネス）
- JS4-5 CUORE における運動処方箋の実際
 石川 光希（医療法人宮仁会猫山宮尾病院メディカルフィットネス CUORE / 新潟大学大学院
 現代社会文化研究科）
- JS4-6 健康運動指導士が考える運動処方箋の在り方
 村上 光世（フリーランス）

ジョイントセッション 6

10:20-11:30 第Ⅰ会場

社会的処方と運動療法の交差点～運動に関連する社会資源活用について考える

座長：濱井 彩乃（順天堂大学 医学部スポーツ医学研究室）
 佐藤 真治（帝京大学 医療技術学部）

日本プライマリ・ケア連合学会合同企画

- JS6-1 総合診療医が外来で行う運動処方の実際とジレンマ
 近藤 慶太（J メディカルおゆみの / 順天堂大学総合診療科）
- JS6-2 「医師焼き芋」の実践から考える社会的処方
 平沼 仁実（一般財団法人ひふみ会 まちだ丘の上病院）
- JS6-3 大学生リクワーカーを活用した社会的処方の経験
 山元佐和子（アール医療専門職大学）

ランチセミナー 3

11:40-12:30 第 I 会場

座長：新家 敏郎（昭和医科大学）

- LS3 回復期心臓リハビリテーション普及のために
ー心血管疾患における遠隔リハビリテーションに関するステートメントー
牧田 茂（川口きゅうぽうリハビリテーション病院）

共催：株式会社 CaTe

パネルディスカッション 3

13:00-13:50 第 I 会場

リアルワールドでの運動療法

座長：佐藤 真治（帝京大学 医療技術学部）

- PD3-1 リアルワールドでの有酸素運動
檜垣 靖樹（福岡大学スポーツ科学部）
PD3-2 リアルワールドでのレジスタンストレーニング（筋トレ）
都竹 茂樹（大阪大学 健康スポーツ科学教育研究環）

閉会式

13:50-14:00 第 I 会場

ジョイントセッション 5

9:00-10:15 第 II 会場

糖尿病最新運動療法；基礎研究から臨床実践

座長：細井 雅之（社会医療法人大道会森之宮病院 内科糖尿病内分泌センター）
野村 卓生（関西医科大学 大学院生涯健康科学研究科・リハビリテーション学部）

日本糖尿病学会合同企画

- JS5-1 糖尿病および合併症の重症化予防に向けた運動療法の基礎と臨床応用
河野 健一（国際医療福祉大学福岡保健医療学部理学療法学科）
JS5-2 「糖代謝改善」ではなく「神経回路再編」を標的とした糖尿病運動療法
ー 糖尿病性皮質脊髄路障害に対するスキル運動の可能性 ー
村松 憲（杏林大学 保健学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻）
JS5-3 母体の運動習慣は子孫の骨格筋赤筋化と脂肪組織ベージュ化を介して耐糖能を向上させる
藤田 直人（広島大学大学院医系科学研究科）
JS5-4 「運動しましょう」から「どう動けばよいか」へ：デバイスを活用した糖尿病運動療法の実装
大坂 貴史（綾部市立病院 内分泌・糖尿病内科 / 京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学講座）
JS5-5 運動の見える化が拓く運動療法の未来
岩部 真人（日本医科大学大学院医学研究科 内分泌代謝・腎臓内科学分野）
JS5-6 PHR による糖尿病患者のライフログ記録と運動療法支援
元山 宏華（大阪市立総合医療センター糖尿病・内分泌内科）

シンポジウム 4	10:20-11:30 第Ⅱ会場
メディカルフィットネスは社会に根づくのか？ - 医療・介護をつなぐ運動療法の現実と課題 - 座長：二階堂 暁（八王子みなみ野心臓リハビリテーションクリニック 循環器内科） 田嶋 明彦（新潟薬科大学 医療技術学部）	

- S4-1 地域クリニックにおけるメディカルフィットネスの役割と運用方法
行光 望（東十条ホープ内科・循環器内科クリニック）
- S4-2 メディカルフィットネス SORA が担う医療 / 介護 / 地域を繋ぐ役割
—行政と連携した保健事業 3 年間の取り組み—
中村 洋貴（社会医療法人 高清会 高井病院 / メディカルフィットネス SORA）
- S4-3 医療機関・疾病予防運動施設・公共施設を繋ぐメディカルフィットネスの実際と連携の工夫
村上 光世（フリーランス）

ランチョンセミナー 4	11:40-12:30 第Ⅱ会場
座長：坂本 静男（早稲田大学 名誉教授）	

- LS4 酸素利用効率の最適化は可能か：ケンフェロールが拓く運動療法の新たなパラダイム
沖田 孝一（北翔大学）

共催：大塚製薬株式会社

ジョイントセッション 7	12:40-13:50 第Ⅱ会場
心血管疾患における骨格筋の役割と運動療法の最前線 実践と最新のエビデンス 座長：三浦伸一郎（福岡大学 医学部心臓・血管内科学） 安達 仁（群馬県立心臓血管センター心臓リハビリテーション部 アドバイザー東京医科大学循環器内科客員教授）	

日本リハビリテーション学会合同企画

- JS7-1 マイオカインによる心不全治療戦略を考える
泉家 康宏（熊本大学大学院 生命科学研究部 循環器内科学）
- JS7-2 加圧トレーニングの実践とエビデンス
石坂 勇人（獨協医科大学病院リハビリテーション科）
- JS7-3 心血管疾患におけるレジスタンス運動の実践とエビデンス
骨格筋を標的とした運動療法の新たな視点
松田 拓朗（福岡大学病院 リハビリテーション部）
- JS7-4 心血管疾患における高強度インターバルトレーニング（HIIT）—エビデンスと実践—
井澤 和大（神戸大学大学院医学系研究科）

教育講演 9	9:10-9:40 第Ⅲ会場
座長：小熊 祐子（慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター）	

- EL9 ARCS 動機づけモデルを活用した行動変容支援
都竹 茂樹（大阪大学 健康スポーツ科学教育研究環）

教育講演 10	9:45-10:15 第Ⅲ会場
座長：下光 輝一（（公財）健康・体力づくり事業財団 理事長）	

- EL10 臨床運動療法におけるマインドフルネスの可能性
梅田 陽子（京都大学医学部附属病院 循環器内科）

教育講演 11	10:20-10:50 第Ⅲ会場
運動療法のサイエンス最前線！	
座長：横山 美帆（順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科）	

- EL11 運動療法のサイエンス最前線：エビデンス創出から社会実装へ
中田 由夫（筑波大学体育系）

教育講演 12	10:55-11:25 第Ⅲ会場
体重支持力の評価（体重支持指数：WBI）の運動療法への臨床応用	
座長：牧田 茂（川口きゅうぼろリハビリテーション病院 リハビリテーション科）	

- EL12 体重支持力の評価（体重支持指数：WBI）の運動療法への臨床応用
山本 利春（国際武道大学名誉教授）

教育講演 13	12:40-13:10 第Ⅲ会場
肥満の運動療法	
座長：細井 雅之（森ノ宮病院 糖尿病内科）	

- EL13 肥満の予防・改善に向けた運動療法の新指針
石井好二郎（同志社大学スポーツ健康科学部）

教育講演 14	13:20-13:50 第Ⅲ会場
座長：曾根 博仁（新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科学分野）	

- EL14 体重減少の薬のイロハ
加賀 英義（順天堂大学大学院医学研究科代謝内分泌内科学）

実技 2	9:00-12:05 実技会場
-------------	------------------------

高齢患者や心疾患患者に対するレジスタンストレーニングの実際
高橋 哲也（順天堂大学保健医療学部理学療法学科）
心肺運動負荷試験の理論と実際
-JHC 共催 CPX Live demonstration 2 -（中級編）
伊東 秀崇（虎の門病院 循環器内科）
前田 知子（榊原記念病院附属クリニック 検査科）

共催：NPO 法人ジャパンハートクラブ

一般演題ポスターセッション 2		10:30-11:30 ポスター会場
基礎研究・運動生理		座長：宮脇 大（株式会社 Doctor's Fitness 循環器内科） 越智 英輔（法政大学 大学院スポーツ健康学研究科）

- P-26 運動強度と Dual-task による前頭前野脳酸素化動態の変化—近赤外線分光法を用いた検討—
杉田 海斗（順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科）
- P-27 高脂肪食負荷マウスの筋肥大モデル骨格筋における Imeglimin および Metformin の代謝・炎症関連因子の影響
石黒 創（新潟大学 医学部 血液内分泌代謝内科）
- P-28 最大筋力の 45%で週 2 回のスロートレーニングが若年者の動脈スティフネスと膝関節伸展屈曲筋力に与える影響
山本 薫（松本大学 人間健康学部 スポーツ健康学科）
- P-29 閉経後前糖尿病女性の運動介入における説明可能 AI を用いた生物学的年齢と DNA メチル化経路解析
村上友香理（関西医科大学 附属生命医学研究所 ゲノム解析部門）

一般演題ポスターセッション 2		10:30-11:30 ポスター会場
身体活動・健康増進 2		座長：長阪 裕子（東京工学院専門学校 スポーツビジネス科） 宮澤 僚（昭和医科大学 保健医療学部リハビリテーション学科）

- P-30 血液データに基づき運動負荷量を調整し、良好な結果を得た最重症再生不良性貧血の一例
田中 千佳（京都桂病院 リハビリテーションセンター）
- P-31 身体活動量計を使った介護予防へのアプローチ
星野 陽子（公益財団法人北陸体力科学研究所）
- P-32 職域における機器を用いないインターバルトレーニングの実装報告
尾関 拓也（あいち健康の森健康科学総合センター）
- P-33 社交ダンスにおけるオキシトシン応答に及ぼす影響：パイロット研究
平原かおり（順天堂大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 / 国分寺ウチダダンススクール）
- P-34 高齢者における週 1 回のバスケットボール活動が機能的体力に及ぼす影響 - ロコモ指標、日本人基準値との比較 -
近藤 和夫（日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科）

一般演題ポスターセッション 2		10:30-11:30 ポスター会場
心臓・呼吸器疾患 2		座長：田代 尚範（群馬パース大学 リハビリテーション学部理学療法学科） 福田 平（人間総合科学大学 人間科学部 健康栄養学科）

- P-35 切除不能胃癌の抗癌剤治療後にうっ血性心不全となり、心臓リハビリテーションの早期介入が有効であった一例
小和板 仁（昭和医科大学藤が丘病院 リハビリテーション室）
- P-36 重症急性呼吸窮迫症候群に対して病期に応じた治療プログラムを提供し、自宅退院に至った一例
森脇 大承（京都桂病院 リハビリテーションセンター）
- P-37 補助人工心臓装着患者と心臓移植後患者を対象とした遠隔心臓リハビリテーションの導入と初期成績
水嶋 優太（獨協医科大学病院 リハビリテーション科）
- P-38 非代償性心不全急性期からの早期心臓リハビリテーション介入が退院経路に及ぼす影響
大西 光（東海大学医学部付属病院 循環器内科）

一般演題ポスターセッション 2		10:30-11:30 ポスター会場
心臓・呼吸器疾患 3		座長：大堀 克彦（北海道循環器病院 循環器内科） 安達 太郎（昭和医科大学 保健医療学部 看護学科）

- P-39 心アミロイドーシス症例に対する当院での運動リハビリテーションの効果の検証
金田 和久（京都大学医学部附属病院）
- P-40 経カテーテル僧帽弁接合不全修復術後患者における外来心臓リハビリテーション参加の心血管再入院抑制効果
横田 裕哉（昭和医科大学 内科学講座 循環器部門）
- P-41 心不全入院患者への多職種教育及び病棟栄養士による栄養管理が集団心リハ参加率上昇に寄与する可能性がある
藤井沙耶香（昭和医科大学病院 リハビリテーションセンター）
- P-42 僧帽弁閉鎖不全症に対し経皮的僧帽弁接合不全修復術を施行した患者の心臓リハビリテーションとの関連
相本 賢二（昭和医科大学病院 リハビリテーションセンター）

一般演題ポスターセッション 2		10:30-11:30 ポスター会場
腎・代謝疾患		座長：田村 由馬（獨協医科大学日光医療センター リハビリテーション部 / 大学院医学研究科内科学系医工学講座） 岩田健太郎（神戸市立医療センター中央市民病院 リハビリテーション技術部）

- P-43 血液透析患者の疲労感に対する透析中運動療法の効果
李 寿恵（社会医療法人 愛仁会 井上病院）
- P-44 維持血液透析患者における透析中の運動療法の有用性の検討
尾崎真奈美（医療法人社団時正会 碑文谷腎透析クリニック）
- P-45 高齢 2 型糖尿病患者における疼痛関連 QOL 改善の特徴
—自宅ダンス運動療法の Responder 解析—
柳田洸一朗（獨協医科大学埼玉医療センター 糖代謝・内分泌内科）
- P-46 高齢血液透析患者における透析中運動療法後の α -Klotho — FGF23 応答と抗酸化能との関連
三浦 美佐（筑波技術大学保健科学部理学療法学コース）

一般演題ポスターセッション 2		10:30-11:30 ポスター会場
脳神経・運動器		座長：小山 照幸（牧野記念病院 在宅診療部） 吉川 貴仁（大阪公立大学大学院医学研究科運動生体医学）

- P-47 超音波診断装置を用いた前脛骨筋肥厚率と運動耐容能についての検討
～ベンケイノチカラコブ～
石川 昌弘（岩槻南循環器クリニック / 岩槻南メディカルフィットネス / 岩槻南病院）
- P-48 脊椎病起因の踵しびれと歩きにくさの考察—術前術後の踵接地感の傾向から—
鈴木 盛史（参宮橋脊椎外科病院 リハビリテーション科）
- P-49 ロコモ関連因子の性差についての検討 - 腹囲、握力及び DHEA-S に着目して -
今村 貴幸（常葉大学 保育学部 保育学科 / 東海大学医学部）
- P-50 他疾患を併存するパーキンソン病患者に対する HAL 腰タイプ 4ch 活用の有用性
山田 敏夫（医療法人偕行会 名古屋共立病院 ウェルネスセンター）
- P-51 回復期病棟の入院患者における膝伸展筋力と自律神経活動との関連
岡 俊文（社会医療法人スミヤ 角谷リハビリテーション病院）

特定非営利活動法人 日本臨床運動療法学会

定款

第1 章 総則

(名称)

第 1 条 この法人は、特定非営利活動法人日本臨床運動療法学会と称し、英文名ではJapanese Association of Exercise Therapy and Prevention (JAETP) と称する。

(事務所)

第 2 条 この法人は、主たる事務所を大阪府枚方市に置く。

第 2 章 目的及び事業

(目的)

第 3 条 この法人は、広く社会に対して、臨床運動療法に関する研究及びその臨床応用を図り、さらにこの分野の教育と普及に努め、臨床医学の発展を通して国民の健康福祉の増進に寄与することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第 4 条 この法人は、その目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (3) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

(事業)

第 5 条 この法人は、その目的を達成するため、次の特定非営利活動に係る事業を行う。

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ①学術集会の開催等による臨床運動療法に関する研究発表事業
- ②機関紙等の発行による臨床運動療法の普及・啓発事業
- ③指導士の資格認定、更新及び講習等に関する事業
- ④その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(2) その他の事業

- ①臨床運動療法に関連する T シャツ、ロゴマークなどの物品販売及びライセンスに関する事業

第 3 章 会員

(種別)

第 6 条 この法人の会員は次の 4 種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下「法」という。）上の社員とする。

- (1) 正 会 員 この法人の目的に賛同して入会した個人
- (2) 名誉会員 臨床運動療法の発展に多大な寄与のあった者の中から理事会が推薦し、総会の承認を

得た個人

- (3) 功労会員 この法人の発展に功労のあった会員の中から理事会が推薦し、総会の承認を得た個人
- (4) 賛助会員 この法人の事業を賛助するために入会した個人及び団体

(入会)

第7条 会員の入会については、特に条件を定めない。

2 会員として入会しようとするものは、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとし、理事長は、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。

3 理事長は、前項のものの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって、本人にその旨を通知しなければならない。

(入会金及び会費)

第8条 会員は、理事会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(会員の資格の喪失)

第9条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 退会届の提出をしたとき。
- (2) 本人が死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は会員である団体が消滅したとき。
- (3) 継続して2年以上会費を滞納したとき。
- (4) 休会からの復帰予定期日を2年以上過ぎても復帰手続きが行われなかったとき
- (5) 除名されたとき。

(退会)

第10条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第11条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) この定款に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

第4章 役員等

(種別及び定数)

第12条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 10人以上30人以内
- (2) 監事 1人以上3人以内

2 理事のうち、1人を理事長とし、副理事長を若干名置くことができる。

(選任等)

第13 条 理事は、別に定めるところにより理事会において選任し、総会に報告する。

2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。

3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3 親等以内の親族が 1 人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3 親等以内の親族が役員の総数の3分の1 を超えて含まれることになってはならない。

4 監事は理事会が推薦し、総会で選任する。

5 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。

(職務)

第14 条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

2 理事長以外の理事は、法人の業務について、この法人を代表しない。

3 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。

4 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。

5 監事は、次に掲げる職務を行う。

(1) 理事の業務執行の状況を監査すること。

(2) この法人の財産の状況を監査すること。

(3) 前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。

(4) 前号の報告をするため必要がある場合には、総会を招集すること。

(5) 理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べ、若しくは理事会の招集を請求すること。

(任期等)

第15 条 役員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項の規定にかかわらず、後任の監事が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が終結するまでその任期を伸長する。

3 補欠のため、又は増員により就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。

4 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(欠員補充)

第16 条 理事又は監事のうち、その定数の 3 分の 1 を超えるものが欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

第17 条 役員が次の各号の一に該当するに至ったときは、理事は理事会の議決、監事は総会の議決により、これを解任することができる。この場合、その役員に対し、議決する前に弁明の機会を与えなければならない。

(1) 職務の遂行に堪えない状況にあると認められるとき。

(2) 職務上の義務違反、その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

(報酬等)

第18 条 役員はその総数の3分の1以下の範囲内で報酬を受けることができる。

2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。

3 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

第5章 総会

(種別)

第19 条 この法人の総会は、通常総会及び臨時総会の2 種とする。

(構成)

第20 条 総会は、正会員をもって構成する。

(権能)

第21 条 総会は、以下の事項について議決する。

(1) 定款の変更

(2) 解散

(3) 合併

(4) 会員の除名

(5) 事業計画及び活動予算並びにその変更

(6) 事業報告及び活動決算

(7) 監事の選任又は解任、職務及び報酬

(8) その他運営に関する重要事項

(開催)

第22 条 通常総会は、毎事業年度1回開催する。

2 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

(1) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき

(2) 正会員総数の5分の1以上から会議の目的を記載した書面をもって招集の請求があったとき

(3) 第14 条第5項第4号の規定により、監事から招集があったとき

(招集)

第23条 総会は、第22条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。

2 理事長は、第22条第2項第1号及び第2号の規定による請求があったときは、その日から60日以内に臨時総会を招集しなければならない。

3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的方法（以下、書面等という。）をもって、少なくとも会日の5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第24条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から理事長が指名する。

(定足数)

第25条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することはできない。

(議決)

第26条 総会における議決事項は、第23条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 理事又は正会員が総会の目的である事項について提案した場合において、正会員の全員が書面等により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の総会の決議があったものとみなす。

(表決権等)

第27条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由により総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について、書面等をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員は、第25条、第26条第2項、第28条第1項第2号及び第48条の適用については出席したものとみなす。

4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議事の議決に加わることはできない。

(議事録)

第28条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 日時及び場所

(2) 正会員総数及び出席者数（書面等表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。）

(3) 審議事項

(4) 議事の経過の概要及び議決の結果

(5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人2人以上が、記名押印又は署名しなければならない。

3 前2項の規定に関わらず、正会員全員が書面等により同意の意思表示をしたことにより、総会の決議があったものとみなされた場合においては、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 総会の決議があったものとみなされた事項の内容
- (2) 前号の事項の提案をした者の氏名又は名称
- (3) 総会の決議があったものとみなされた日
- (4) 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

第6章 理事会

(構成)

第29条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

第30条 理事会は、この定款で定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) 理事の選任又は解任、職務及び報酬
- (4) 入会金及び会費の額
- (5) 借入金（その事業年度内の収益をもって償還する短期借入金を除く。第44条において同じ。）

その他新たな義務の負担及び権利の放棄

- (6) 事務局の組織及び運営
- (7) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

(開催)

第31条 理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めたとき。
- (2) 理事総数の3分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第14条第5項第5号の規定により、監事から招集の請求があったとき。

(招集)

第32条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長は、第31条第2号及び第3号の規定による請求があったときは、その日から14日以内に理事会を招集しなければならない。

3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面等により、開催日の少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第33条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

(理事会の定足数)

第34条 理事会は、理事総数の3分の2以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第35条 理事会における議決事項は、第32条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第36条 各理事の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面等をもって表決することができる。

3 前項の規定により表決した理事は、第35条第2項及び第37条第1項第2号の適用については、理事会に出席したものとみなす。

4 理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

(議事録)

第37条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名（書面等表決者にあつては、その旨を付記すること）。
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項
- (6) 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人が記名押印又は署名しなければならない。

第7章 資産及び会計

(資産の構成)

第38条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立の時の財産目録に記載された資産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 寄付金品

- (4) 財産から生じる収益
- (5) 事業に伴う収益
- (6) その他の収益

(資産の区分)

第39 条 この法人の資産は、特定非営利活動に係る事業に関する資産のみとする。

(資産の管理)

第40 条 この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

(会計の原則)

第41 条 この法人の会計は、法第27 条各号に掲げる原則に従って行わなければならない。

(会計の区分)

第42 条 この法人の会計は、特定非営利活動に係る事業に関する会計のみとする。

(事業計画及び予算)

第43 条 この法人の事業計画及びこれに伴う活動予算は、毎事業年度ごとに理事長が作成し、総会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第44 条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収益費用を講じることができる。

2 前項の収益費用は、新たに成立した予算の収益費用とみなす。

(予算の追加及び更正)

第45 条 予算議決後にやむを得ない事由が生じたときは、理事会の議決を経て、既定予算の追加又は更正をすることができる。

(事業報告書及び決算書)

第46 条 この法人の事業報告書、活動計算書、貸借対照表及び財産目録等の決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。

2 決算上剰余金を生じたときは、次事業年度に繰り越すものとする。

(事業年度)

第47 条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(臨時の措置)

第48 条 予算をもって定めるもののほか、借入金の借入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事会の議決を経なければならない。

第 8 章 定款の変更、解散及び合併

(定款の変更)

第49 条 この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の4 分の3 以上の多数による議決を経、かつ、法第 2 5 条第 3 項に規定する事項を変更する場合、所轄庁の認証を得なければならない。

(解散)

第50 条 この法人は、次に掲げる事由により解散する。

- (1) 総会の決議
- (2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
- (3) 正会員の欠亡
- (4) 合併
- (5) 破産手続開始の決定
- (6) 所轄庁による設立の認証の取消し

2 前項第 1 号の事由によりこの法人が解散するときは、正会員総数の 4 分の 3 以上の議決を経なければならない。

3 第 1 項第 2 号の事由により解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第51 条 この法人が解散（合併又は破産手続開始の決定による解散を除く。）したときに残存する財産は、法第11 条第 3 項に規定する者のうち、総会で議決した者に譲渡するものとする。

(合併)

第52 条 この法人が合併しようとするときは、総会において正会員総数の 4 分の 3 以上の議決を経、かつ、所轄庁の認証を得なければならない。

第 9 章 公告の方法

(公告の方法)

第53 条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。ただし、法第28 条の 2 第 1 項に規定する貸借対照表の公告については、この法人の主たる事務所の掲示場に掲示して行う。

第10章 評議員会及び委員会など

(評議員会)

第54条 この法人に、評議員を置く。

2 評議員は、会員の中から理事会において選任し、総会に報告する。

3 評議員は、評議員会を構成し、理事長の諮問に応じて、法人の運営に関する事項に助言をすることができる。

4 前3項に関して必要な事項は、理事長が別に定めることができる。

(委員会及び幹事)

第55条 理事会は、理事会の議決を経て、運営委員会等の会務の遂行に必要な各種委員会及び幹事を置くことができる。

2 委員会の委員長、委員及び幹事は、理事会の議決を経て、理事長が委嘱する。

3 前2項に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定めることができる。

第11章 事務局

(事務局の設置)

第56条 この法人に、この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

2 事務局には、事務局長及び必要な職員を置く。

3 事務局長及び職員の任免は、理事長が行う。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

第12章 雑則

(細則)

第57条 この定款の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て、理事長がこれを定めることができる。

附則

1 この定款は、この法人の成立の日から施行する。

2 この法人の設立当初の役員は、第12条第3項及び第4項の規定にかかわらず、次のとおりとする。

理事長 前田 如矢

理事 有田 幹雄、岩坂 壽二、神原 啓文、後藤 葉一、佐藤 祐造、下光 輝一、藤本 繁夫

監事 上月 正博、木村 穰

3 この法人の設立当初の役員の任期は、第14条第1項の規定にかかわらず、この法人の成立の日から

平成19 年6月30 日までとする。

4 この法人の設立当初の事業計画及び収支予算は、第39条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによる。

5 この法人の設立当初の事業年度は、第43条の規定にかかわらず、この法人の成立の日から平成19年3月31 日までとする。

6 この法人の設立当初の入会金及び会費は、第8条の規定にかかわらず、次に掲げる額とする。

(1) 正 会 員（個人及び団体） 入会金 0 円 年会費 5,000 円

(2) 賛助会員（個人及び団体） 入会金 50,000 円 年会費 一口 10,000 円（一口以上）

附則

この定款は、平成26 年3 月11 日から施行する。

令和6 年9月15日 改定

第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会
プログラム委員
(50 音順)

礪 良崇 (昭和医科大学藤が丘病院 循環器内科)
伊藤 修 (東北医科薬科大学医学部 リハビリテーション学)
太田 玉紀 (猫山宮尾病院 内科)
小熊 祐子 (慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター)
黒瀬 聖司 (大阪産業大学 スポーツ健康学部)
木庭 新治 (昭和医科大学 内科学講座 循環器内科学部門)
佐藤 真治 (帝京大学 医療技術学部)
田代 尚範 (群馬パース大学)
二階堂 暁 (八王子みなみ野心臓リハビリテーションクリニック 循環器内科)
根本 慎司 (昭和医科大学 リハビリテーション学科)
細井 雅之 (大道会 森之宮病院 内科)
宮崎 博子 (京都桂病院 リハビリテーションセンター)
横田 裕哉 (昭和医科大学 循環器内科)
吉川 貴仁 (大阪公立大学 大学院医学研究科 運動生体医学)

特定非営利活動法人 日本臨床運動療法学会 役員名簿

理事長	後藤 葉一	北大阪ほうせんか病院
副理事長	沖田 孝一	北翔大学大学院 生涯スポーツ学研究科
	曾根 博仁	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科学講座
理事	有田 幹雄	角谷リハビリテーション病院
	石井 好二郎	同志社大学
	伊藤 修	東北医科薬科大学医学部 リハビリテーション学
	磯 良崇	昭和医科大学藤が丘病院
	小熊 祐子	慶応義塾大学 スポーツ医学研究センター
	木村 穰	関西医科大学附属病院健康科学センター
	木庭 新司	昭和医科大学
	坂本 静男	早稲田大学名誉教授
	佐藤 真治	帝京大学 医療技術学部
	澤田 亨	早稲田大学
	下光 輝一	健康・体力づくり事業財団
	白石 裕一	京都府立医科大学
	田村 好史	順天堂大学大学院
	津下 一代	女子栄養大学
	中島 敏明	獨協医科大学
	中田 由夫	筑波大学 体育系
	古川 裕	神戸市立医療センター中央市民病院
	細井 雅之	大阪市立総合医療センター
	吉川 貴仁	大阪公立大学
監事	上月 正博	公立大学法人山形県立保健医療大学
	牧田 茂	川口きゅうぼろリハビリテーション病院
評議員	芥田 憲夫	国家公務員共済組合連合会虎の門病院
	安達 仁	群馬県立心臓血管センター 循環器内科
	安田 智洋	聖隷クリストファー大学 看護学部
	泉家 康宏	熊本大学大学院 循環器内科学
	井澤 和大	神戸大学大学院 保健学研究科
	石黒 創	新潟大学 医学部 血液内分泌代謝内科
	今井 優	医仁会武田総合病院 疾病予防センター
	今村 貴幸	常葉大学
	岩坂 潤二	長久病院
	岩田 健太郎	神戸市立医療センター中央市民病院 リハビリテーション技術部
	植木 純	順天堂大学大学院医療看護学研究科 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会理事長
	梅田 陽子	トータルフィット株式会社
	大坂 貴史	綾部市立病院 内分泌・糖尿病内科

太田 玉紀	猫山宮尾病院 内科
大宮 一人	医療法人社団有仁会 島津メディカルクリニック
大堀 克彦	北海道循環器病院 循環器内科
尾関 拓也	あいち健康プラザ
小川 佳子	東北医科薬科大学 医学部リハビリテーション学
江玉 睦明	新潟医療福祉大学 医療技術学部 理学療法学科 運動機能医科学研究所
越智 英輔	法政大学 大学院スポーツ健康学研究科
小山 照幸	亀田総合病院
街 勝徳	法政大学 スポーツ研究センター
加賀 英義	順天堂大学 大学院医学研究科 代謝内分泌内科学
勝木 達夫	やわたメディカルセンター
加藤 倫卓	常葉大学 健康科学部
金澤 正範	岩手県立中央病院
川久保 清	共立女子大学大学院 家政学研究科
上村 博輝	新潟大学 医歯学総合研究科消化器内科分野
神谷 健太郎	北里大学医療衛生学部
川中 美和	川崎医科大学 総合内科学 2
朽木 勤	兵庫大学 健康科学部健康システム学科
久保田 眞由美	関西医科大学総合医療センター 健康科学センター
熊坂 礼音	埼玉石心会病院リハビリテーション科
熊原 秀晃	中村学園大学栄養科学部
黒瀬 聖司	大阪産業大学 スポーツ健康学部
近藤 和夫	日本医療大学
近藤 博和	天理よろづ相談所病院救急診療部 リハビリテーション部・循環器内科
紺野 久美子	帝京大学医学部 医学教育講座
坂根 直樹	京都医療センター
佐藤 聡見	福島県立医科大学 保健科学部理学療法学科
真田 樹義	立命館大学 スポーツ健康科学部
島田 和典	千川通りクリニック
庄野 菜穂子	西九州大学 健康福祉学部
杉浦 哲朗	関西医科大学総合医療センター
星賀 正明	大阪医科薬科大学医学部 内科学講座内科学Ⅲ・循環器内科
関 和俊	流通科学大学 人間社会学部 人間健康学科 教授
高田 真吾	北翔大学
高波 嘉一	大妻女子大学 家政学部
高橋 正行	奈良西部病院
田嶋 明彦	帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科
田中 尚子	公益財団法人日本健康スポーツ連盟
田村 由馬	独協医大日光医療センターリハビリテーション部
民田 浩一	明石医療センター

鶴川 俊洋	鹿児島市立病院リハビリテーション部
都竹 茂樹	大阪大学
友利 杏奈	国立スポーツ科学センター
長嶺 敦司	ハートライフクリニック 疾病予防運動施設リユーズ
長阪 裕子	筑波大学 スマートウェルネスシティ政策開発研究センター
中嶋 耕平	国立スポーツ科学センター
中嶋 千晶	なかじまちあき内科クリニック
中村 隆志	済生会 滋賀県病院
新野 弘美	京都先端科学大学 健康医療学部健康スポーツ学科
二階堂 暁	八王子みなみ野心臓リハビリテーションクリニック
西田 裕一郎	佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野
野原 隆司	国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院
野村 卓生	関西医科大学 リハビリテーション学部
能瀬 さやか	国立スポーツ科学センター
濱 知明	東海大学医学部附属八王子病院
林 宏憲	林ハートクリニック 心臓リハビリテーション科
日浦 幹夫	青森大学 脳と健康科学研究センター
深尾 宏祐	順天堂大学 スポーツ健康科学部
福田 平	神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部人間総合科
星川 雅子	国立スポーツ科学センター
本田 寛人	四條畷学園大学 リハビリテーション学部
前倉 亮治	滋慶医療科学大学院大学
松田 拓郎	福岡大学病院 リハビリテーション部
松本 泰治	国際医療福祉大学塩谷病院 循環器内科
三浦 美佐	筑波技術大学 保健科学部 理学療法学専攻
水谷 和郎	六甲アイランド甲南病院
宮内 拓史	関西医科大学附属病院 健康科学センター
宮崎 博子	京都桂病院 リハビリテーションセンター
宮崎 亮	島根大学 人間科学部
宮澤 僚	昭和医科大学保健医療学部 リハビリテーション学科
宮脇 大	株式会社 Doctor's Fitness
元山 宏華	大阪市立総合医療センター 糖尿病・内分泌内科
森山 善文	名古屋共立病院
村田 誠	国立循環器病研究センター心血管リハビリテーション科
安 隆則	獨協医科大学 日光医療センター
山下 亮	熊本健康・体力づくりセンター
山下 浩平	大阪ハイテクノロジー専門学校 鍼灸スポーツ科
山田 重信	医療法人 愛友会 明石病院
横田 裕哉	昭和医科大学循環器内科
横山 美帆	順天堂大学病院 循環器内科

第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会 共催および協賛企業一覧

第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会の開催にあたり、ご支援を賜り深く感謝申し上げます。

第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会
会長 木庭 新治

アストラゼネカ株式会社
アムジェン株式会社
Alnylam Japan 株式会社
アレクシオンファーマ合同会社
株式会社医師のとも
インターリハ株式会社
株式会社ウイン・インターナショナル
MSD 株式会社
大塚製薬株式会社
オムロン ヘルスケア株式会社
旭光物産株式会社
株式会社 CaTe
グラクソ・スミスクライン株式会社
興和株式会社
シーメンスヘルスケア株式会社
J & J Innovative Medicine (ヤンセンファーマ株式会社)
第一三共株式会社
武田薬品工業株式会社
田辺ファーマ株式会社
帝人ヘルスケア株式会社
デンカ株式会社
日本新薬株式会社
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
ノバルティスファーマ株式会社
バイエル薬品株式会社
ファイザー株式会社
ミナト医科学株式会社
持田製薬株式会社
株式会社リモハブ
ロート製薬株式会社

(五十音順 2026 年 8 月 21 日現在)

第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会 ご寄付を賜りました皆様

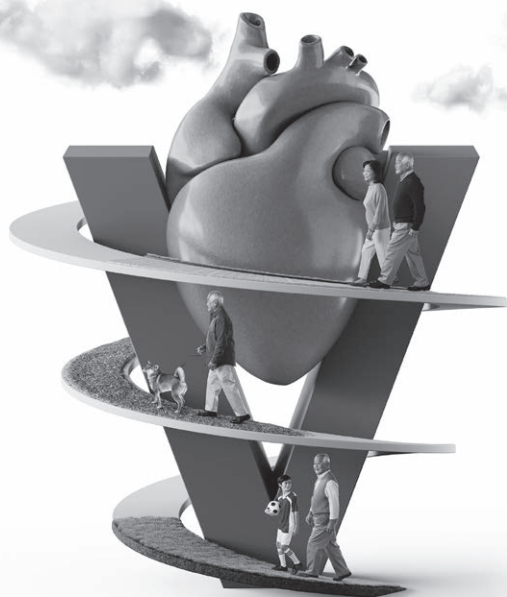
第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会の開催にあたり、ご寄付を賜りました皆様に厚く御礼申し上げます。

ご厚志に感謝申し上げ、ここにご芳名を掲載いたします。

第 45 回日本臨床運動療法学会学術集会
会長 木庭 新治

小貫喜久子 (小貫医院)
吉津 徹 (吉津内科クリニック)
後藤 澄子
後藤 英道 (後藤内科診療所)
木庭 等 (木庭医院)
小山 典宏 (医療法人社団善仁会 小山記念病院)
中谷 雅貴 (中谷循環器内科クリニック)
長谷川 貢
馬場 隆男 (馬場医院)
藤田 良範
村上 幹高 (村上医院循環器科・内科)
山中 英之 (やまなか内科クリニック)
医療法人社団こうかん会 日本鋼管病院
昭和医科大学医学部第三内科・循環器内科同門会
山梨赤十字病院

(敬称略、五十音順 2026 年 8 月 21 日現在)



TTR型アミロイドーシス治療薬

ベンマック カプセル 61mg
Vynmac® capsules 61mg タファミジスカプセル

【前薬】 処方箋医薬品[※] (注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

●「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む使用上の注意」、「効能又は効果に関連する注意」等につきましては電子添文をご参照ください。

製造販売

ファイザー株式会社

〒115-8589 東京都港区赤坂五丁目7番1号

文献請求先及び問い合わせ先： Pfizer Connect/メディカルインフォメーション

文献請求先及び製品の問い合わせ先

Pfizer Connect/メディカルインフォメーション 0120-664-467
<https://pfizermedicalinformation.jp/>にも製品関連情報を掲載

販売情報提供活動にご意見

0120-407-947
<https://www.pfizer.co.jp/pfizer/contact/index.html>

VYN2P002A

2025年10月作成



レジスタンストレーニングマシン

HUR

心疾患の回復期運動療法に欠かせない
レジスタンストレーニング

空圧式マシンで心臓リハビリに必要な筋肉群を効率的にトレーニング。

スマートタッチシステムにより、被験者情報、プログラム登録、負荷自動設定、履歴管理まで一元化できます。



スリングトレーニング

レッドコード

バランス運動・筋力強化・柔軟性向上

自重やレッドコードを使った負荷でストレッチや筋力トレーニングが可能。

段階的に強度を調整できるため、集団運動でも個々に最適な負荷で安全かつ効率的に実施できます。



デュアルタスクエルゴメーター

コグニバイク

国立長寿医療研究センターとの
共同開発で生まれたハイスpekエルゴメーター

コグニサイズの考え方を基盤に開発されたハイスpekエルゴメーターです。低身長の方でも利用でき、低負荷エクササイズから筋力トレーニングまで幅広く対応可能。

さらに多彩なプログラムを搭載しており、楽しく継続的にトレーニングを行うことができます。



インターリハ株式会社

Inter Reha

Advanced Rehab. Robot and Healthcare

〒114-0016 東京都北区上中里 1-37-15

TEL : 03(5974)0231 FAX : 03(5974)0233

<http://www.irc-web.co.jp> E-mail: irc@irc-web.co.jp



AMGEN

最適使用推進ガイドライン対象品目



内なる声が、聞こえてくる。

今できることを、患者さんのこれからのために。



ヒト抗PCSK9モノクローナル抗体製剤

レパーサ® 皮下注140mgペン

エボロクマブ(遺伝子組換え)注

生物由来製品、処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

Repatha

※「効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報」等詳細につきましては、電子添文をご参照ください。

製造販売

アムジェン株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

【文献請求先及び問い合わせ先】 メディカルインフォメーションセンター 0120-790-549

2026年2月作成
EV0266002RM1

X線CT装置

The NAEOTOM Alpha class

Unstoppable.

www.siemens-healthineers.com/jp



NAEOTOM Alpha.Prime

NAEOTOM Alpha.Pro

NAEOTOM Alpha.Peak

It's time for Photon-counting CT



SIEMENS
Healthineers

全身用X線CT診断装置 ネットム Alpha 認証番号: 304A8ZX00004000
ネットム Alpha.Prime 認証番号: 307A8ZX00032000

GSK

TIME TO TALK

ー帯状疱疹予防のためにー

ウイルスワクチン類

【特記事項】

【特記事項】

【特記事項】

【特記事項】

SHINGRIX 筋注用

SHINGRIX for I.M. Injection

生物学的製剤(無菌 乾燥粉末状帯状疱疹ワクチン(シュアグリン・イム・インジェクション)乾燥粉末(無菌))

2. 接種不適当者(予防接種を受けることが適当でない者)

2.1 明らかに発熱を呈している者

2.2 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者

2.3 本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな者

2.4 上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある者

4. 効能又は効果

5. 効能又は効果に関連する注意

6. 用法及び用量

帯状疱疹の予防

本剤を予防接種法に基づき水痘の予防接種に転用することはできない。

抗新製剤を専用注射用容器に溶解する。

50歳以上の者は、0.5mLを2回、各2ヵ月の間隔を置いて、筋肉内に接種する。

症状軽微に罹患するリスクが低いと見られる18歳以上の者は、0.5mLを2回、各2ヵ月の間隔を置いて、筋肉内に接種する。

7. 用法及び用量に関連する注意

7.1 接種対象者

7.2 1. 接種対象者

7.2.1 接種対象者

7.2.2 接種対象者

7.2.3 追加接種の時期

7.3 同時接種

8. 重要な基本的注意

9. 特定の背景を有する者に関する注意

9.1 接種後注意者(接種の判断を行うに際し、注意を要する者)

9.2 2. 追加接種

9.3 追加接種

9.4 追加接種

9.5 追加接種

9.6 追加接種

9.7 追加接種

9.8 追加接種

9.9 追加接種

9.10 追加接種

9.11 追加接種

9.12 追加接種

9.13 追加接種

9.14 追加接種

9.15 追加接種

9.16 追加接種

9.17 追加接種

9.18 追加接種

9.19 追加接種

9.20 追加接種

9.21 追加接種

9.22 追加接種

9.23 追加接種

9.24 追加接種

9.25 追加接種

9.26 追加接種

9.27 追加接種

9.28 追加接種

9.29 追加接種

9.30 追加接種

9.31 追加接種

9.32 追加接種

9.33 追加接種

9.34 追加接種

9.35 追加接種

9.36 追加接種

9.37 追加接種

9.38 追加接種

9.39 追加接種

9.40 追加接種

9.41 追加接種

9.42 追加接種

9.43 追加接種

9.44 追加接種

9.45 追加接種

9.46 追加接種

9.47 追加接種

9.48 追加接種

9.49 追加接種

9.50 追加接種

9.51 追加接種

9.52 追加接種

9.53 追加接種

9.54 追加接種

9.55 追加接種

9.56 追加接種

9.57 追加接種

9.58 追加接種

9.59 追加接種

9.60 追加接種

9.61 追加接種

9.62 追加接種

9.63 追加接種

9.64 追加接種

9.65 追加接種

9.66 追加接種

9.67 追加接種

9.68 追加接種

9.69 追加接種

9.70 追加接種

9.71 追加接種

9.72 追加接種

9.73 追加接種

9.74 追加接種

9.75 追加接種

9.76 追加接種

9.77 追加接種

9.78 追加接種

9.79 追加接種

9.80 追加接種

9.81 追加接種

9.82 追加接種

9.83 追加接種

9.84 追加接種

9.85 追加接種

9.86 追加接種

9.87 追加接種

9.88 追加接種

9.89 追加接種

9.90 追加接種

9.91 追加接種

9.92 追加接種

9.93 追加接種

9.94 追加接種

9.95 追加接種

9.96 追加接種

9.97 追加接種

9.98 追加接種

9.99 追加接種

9.100 追加接種

9.101 追加接種

9.102 追加接種

9.103 追加接種

9.104 追加接種

9.105 追加接種

9.106 追加接種

9.107 追加接種

9.108 追加接種

9.109 追加接種

9.110 追加接種

9.111 追加接種

9.112 追加接種

9.113 追加接種

9.114 追加接種

9.115 追加接種

9.116 追加接種

9.117 追加接種

9.118 追加接種

9.119 追加接種

9.120 追加接種

9.121 追加接種

9.122 追加接種

9.123 追加接種

9.124 追加接種

9.125 追加接種

9.126 追加接種

9.127 追加接種

9.128 追加接種

9.129 追加接種

9.130 追加接種

9.131 追加接種

9.132 追加接種

9.133 追加接種

9.134 追加接種

9.135 追加接種

9.136 追加接種

9.137 追加接種

9.138 追加接種

9.139 追加接種

9.140 追加接種

9.141 追加接種

9.142 追加接種

9.143 追加接種

9.144 追加接種

9.145 追加接種

9.146 追加接種

9.147 追加接種

9.148 追加接種

9.149 追加接種

9.150 追加接種

9.151 追加接種

9.152 追加接種

9.153 追加接種

9.154 追加接種

9.155 追加接種

9.156 追加接種

9.157 追加接種

9.158 追加接種

9.159 追加接種

9.160 追加接種

9.161 追加接種

9.162 追加接種

9.163 追加接種

9.164 追加接種

9.165 追加接種

9.166 追加接種

9.167 追加接種

9.168 追加接種

9.169 追加接種

9.170 追加接種

9.171 追加接種

9.172 追加接種

9.173 追加接種

9.174 追加接種

9.175 追加接種

9.176 追加接種

9.177 追加接種

9.178 追加接種

9.179 追加接種

9.180 追加接種

9.181 追加接種

9.182 追加接種

9.183 追加接種

9.184 追加接種

9.185 追加接種

9.186 追加接種

9.187 追加接種

9.188 追加接種

9.189 追加接種

9.190 追加接種

9.191 追加接種

9.192 追加接種

9.193 追加接種

9.194 追加接種

9.195 追加接種

9.196 追加接種

9.197 追加接種

9.198 追加接種

9.199 追加接種

9.200 追加接種

9.201 追加接種

9.202 追加接種

9.203 追加接種

9.204 追加接種

9.205 追加接種

9.206 追加接種

9.207 追加接種

9.208 追加接種

9.209 追加接種

9.210 追加接種

9.211 追加接種

9.212 追加接種

9.213 追加接種

9.214 追加接種

9.215 追加接種

9.216 追加接種

9.217 追加接種

9.218 追加接種

9.219 追加接種

9.220 追加接種

9.221 追加接種

9.222 追加接種

9.223 追加接種

9.224 追加接種

9.225 追加接種

9.226 追加接種

9.227 追加接種

9.228 追加接種

9.229 追加接種

9.230 追加接種

9.231 追加接種

9.232 追加接種

9.233 追加接種

9



Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、
輝かしい未来に貢献するために、
グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、
革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、
常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、
社会的評価を向上させ、事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp



**私たちは医療の未来を切り拓き
革新的な医薬品をお届けします**

未だ満たされない医療上のニーズを解消する
イノベーションは、患者さんの人生に変革を
もたらします。
その信念のもと、私たちは、患者さんから学び、
科学の力をもって、未来の医薬品の可能性を
切り拓いていきます。



ヤンセンファーマ株式会社
jnj.com/innovativemedicine/japan/

Johnson&Johnson

 **日本新薬**
NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

新しい
生きるを、
創る。



L. Koechlin

NOVARTIS



アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI)

【薬価基準収載】

エンレスト錠
50mg
100mg
200mg
粒状錠 12.5mg
小児用 31.25mg

Entresto® Tablets
Granules サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物製剤

処方箋医薬品 注意－医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等
につきましては電子添文をご参照ください。

製造販売(輸入)

(文献請求先及び問い合わせ先)

ノバルティス ファーマ株式会社
東京都港区虎ノ門1-23-1 〒105-6333

ノバルティス ダイレクト

TEL: 0120-003-293

販売情報提供活動に関するご意見
TEL: 0120-907-026

受付時間: 月～金 9:00～17:30 (祝日及び当社休日を除く)

提携

文献請求先及び問い合わせ先

大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

大塚製薬株式会社 医薬情報センター

〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー

ENR00005IH0004

2024年7月作成

ER2407002

医療関連事業

疾病の診断から治療までを担う

ニュートラシューティカルズ関連事業

日々の健康維持・増進をサポートする

両輪で身体全体を考える

世界の人々の健康に貢献する
トータルヘルスケアカンパニーを目指します

Otsuka-people creating new products for better health worldwide

<https://www.otsuka.co.jp/>



最先端のサイエンスを駆使して、 世界中の人々の生命を救い、 生活を改善すること。

このパーパスの実現に向けて、
MSDは全力で取り組んでいます。



続いてほしい
今日がある
から。

For Future. _____▶



選択的SGLT2阻害剤 薬価基準収載
フォシーガ錠 5mg 10mg

ダバグリフロジンプロピレングリコール錠 | 処方箋医薬品 (注意-医師等の処方箋により使用すること)

「効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む
注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。

製造販売元 [文献請求先]

アストラゼネカ株式会社

大阪市北区大深町3番1号

TEL 0120-189-115

(問い合わせ先フリーダイヤル メディカルインフォメーションセンター)

2024年1月作成



世界中の人々の
健康で豊かな生活に貢献する

イノベーションに情熱を。ひとに思いやりを。



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社



アルツハイマー型認知症治療剤

薬価基準収載



アリドネ[®]パッチ 27.5mg
55mg

ALLYDONE[®] Patches

ドネペジル経皮吸収型製剤 劇薬、処方箋医薬品：注意－医師等の処方箋により使用すること

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。



製造販売元
帝國製薬株式会社
香川県東かがわ市三本松567番地



販売元（文献請求先及び問い合わせ先）
興和株式会社
東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

2024年2月作成

伝統的薬用素材を 現代のウェルビーイングへ 冬虫夏草

「こころ」と「からだ」の
ウェルビーイングに貢献する
新たな可能性を発見

ロート製薬は、東洋で古くから珍重されてきた
薬用素材「冬虫夏草」について、研究を進めています。
今回新たに神経細胞の成長促進、抗不安作用、
学習機能の向上作用を有することを発見しました。

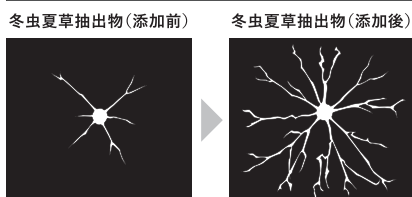
神経は、中枢神経系における情報の伝達・処理を行う
重要な細胞です。しかし、加齢や酸化ストレスなどにより
神経突起が退縮すると、認知機能の低下、
感覚器の機能低下、不安やうつなど、精神的健康の悪化を
引き起こすことが知られています。

【主な研究成果(ゼブラフィッシュを用いた検証)】

ゼブラフィッシュは、哺乳類と共通する神経伝達経路を有し、行動特性の解析に適した
モデル動物として、近年その有用性が世界的に注目されています。

1 冬虫夏草(Hirsutiella sinensis菌糸体)抽出物が 神経突起の伸長を促進した

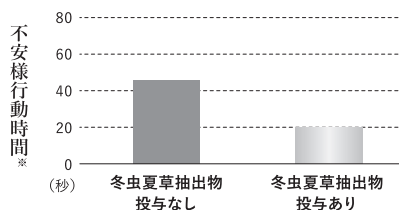
神経突起の伸長(神経の枝が長くなる)



※イメージ図

神経細胞の成長を促進し、神経ネット
ワークの形成をサポートすることを確認。

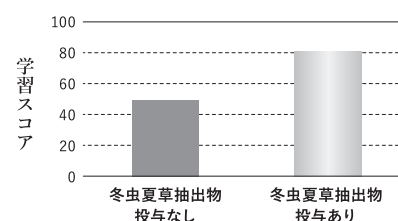
2 冬虫夏草を投与した ゼブラフィッシュで、不安を 和らげる作用が確認された



※初めて水槽上半分に侵入するまでの時間

不安様行動を有意に低減し、こころ
のバランスを整える可能性を確認。

3 冬虫夏草を投与した ゼブラフィッシュで、学習 機能の向上が確認された



記憶・学習に関わる行動を改善し、認知
機能の維持に寄与する可能性を確認。



研究開発リリースはこちら

https://www.rohto.co.jp/research/researchnews/technologyrelease/2025/1126_01

ロート製薬は科学の力と東洋の自然素材の融合で、
人々のウェルビーイングに貢献する研究・開発を続けてまいります。

Rohto

お問い合わせ先

ロート製薬株式会社 マーケティング&コミュニケーション部
MAIL: rohto_pr@rohto.co.jp

お客さまからのお問い合わせ先

ロート製薬株式会社 通販事業部 TEL:0120-880-610
受付時間:月～金 9:00～20:00 (年末年始・祝日を除く)

体外診断用医薬品

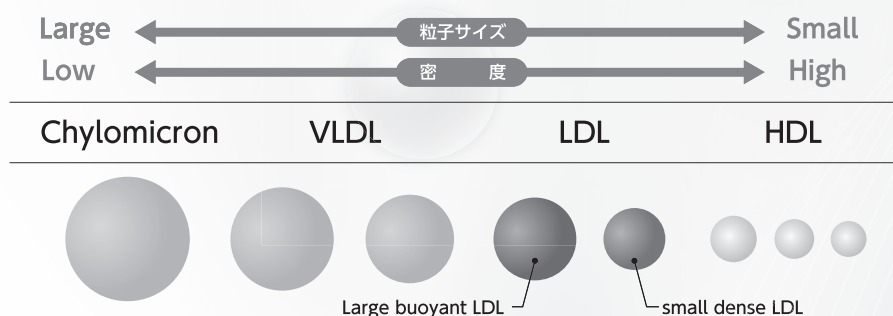
承認番号:30300EZ00081000

sdLDL- コレステロールキット (直接法)

s LDL-EX「生研」

small dense LDL (sdLDL) は、粒子の大きさや密度が異なるLDL亜分画のうち、より小さくて密度の高い分画です。sdLDL分画に含まれるコレステロール量(sdLDL-コレステロール)は、冠動脈性心疾患(CHD)の発症リスクと関係していることが報告されています。

イメージ図



特徴

- 各種汎用自動分析装置に対応可能です。
- 血清、血漿での測定が可能です。
- 将来の冠動脈性心疾患発症リスクの評価に有用です。
- 本試薬を使用した国内の前向き疫学試験の結果を用いて、臨床性能評価を行っています。

包装単位

● s LDL-EX「生研」

統一商品番号	内容	容量
562937	酵素液-1 R-1	18mL × 1
	酵素液-2 R-2	6mL × 1

貯蔵方法: 遮光して2~8℃に保存 有効期間: 12箇月

標準液・コントロール (別売品)

● 標準液

統一商品番号	包装
562128	脂質キャリブレーターD 1mL用 × 5

貯蔵方法: 遮光して2~10℃に保存 有効期間: 18箇月

● コントロール

統一商品番号	包装
561350	脂質コントロールI 1mL用 × 10
561367	脂質コントロールII 1mL用 × 10

貯蔵方法: 遮光して2~10℃に保存 有効期間: 18箇月

デンカ株式会社

【問い合わせ先】 試薬学術担当

〒103-8338 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号

フリーダイヤル 0120-206-072 受付時間 9:00~17:00 (土日祝日・弊社休業日を除く)



zepbound[®]

(tirzepatide) injection

薬価基準収載

持続性GIP/GLP-1 受容体作動薬

2.5mg
5mg
7.5mg
10mg
12.5mg
15mg

ゼップバウンド[®] アテオス[®]

皮下注

チルゼパチド注射液 Zepbound[®] Subcutaneous Injection ATEOS[®]

劇薬 処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

最適使用推進ガイドライン対象品目

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文を参照ください

販売元（文献請求先及び問い合わせ先）

田辺ファーマ株式会社

製品情報に関するお問い合わせ

TEL:0120-753-280（くすり相談センター）

製造販売元（文献請求先及び問い合わせ先）

日本イーライリリー株式会社

日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口

0120-360-605^{※1}（医療関係者向け）

受付時間 月曜日～金曜日 8:45～17:30^{※2}

※1 通話料は無料です。携帯電話からでもご利用いただけます。

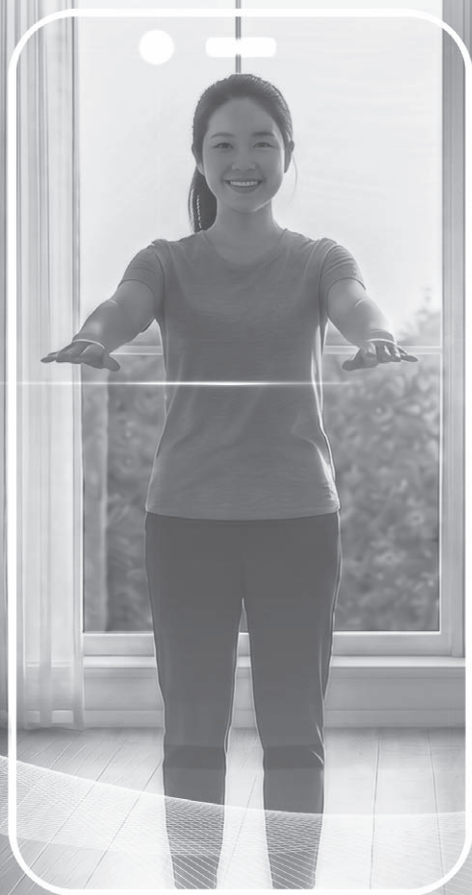
※2 祝祭日および当社休日を除きます。

medical.lilly.com/jp

CaTe inc.

CONNECTING HEALTHCARE, CREATING A BETTER TOMORROW

すべての人がテクノロジーの力で、
より良い医療を受けられる世界を実現します。



運動療法



食事療法



服薬管理



遠隔モニタリング



遠隔指導



患者教育

株式会社CaTeは、在宅での運動療法等を支援する心疾患管理プログラム医療機器の研究開発を行っています。NEDO(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)等の支援のもと、日本国内でのPhase3治験の開始、および米国をはじめとする世界展開に向けた事業を進めています。

代表取締役 寺嶋一裕(藤田医科大学)

株式会社CaTe
HPIはこちら





TTR型アミロイドーシス治療薬

薬価基準収載

ビンマック[®] カプセル 61mg

Vynmac[®] capsules 61mg タファミジスカプセル

劇薬 処方箋医薬品^(注) 注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

●「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む使用上の注意」、「効能又は効果に関連する注意」等につきましては電子添文をご参照ください。

製造販売

ファイザー株式会社

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7

文献請求先及び問い合わせ先：Pfizer Connect/メディカル・インフォメーション

文献請求先及び製品の問い合わせ先：
Pfizer Connect/メディカル・インフォメーション 0120-664-467
<https://pfizermedicalinformation/jp>にも製品関連情報を掲載

販売情報提供活動に関するご意見：
0120-407-947
<https://www.pfizer.co.jp/pfizer/contact/index.html>

VYN72P002A
2025年10月作成



非ステロイド型
選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬

薬価基準収載



ケレンディア[®]錠 10mg
20mg

Kerendia[®] tablets 10mg/20mg

フィネレノン錠

処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については、
最新の電子添文をご参照ください。



Bayer

製造販売元【文献請求先及び問い合わせ先】

バイエル薬品株式会社

大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001

<https://pharma.bayer.jp>

【コンタクトセンター】

0120-106-398

<受付時間> 9:00～17:30（土日祝日・当社休日を除く）



Life forward

かけがえのない日常のために

ベーリンガーインゲルハイムは、株式を公開しない独立した企業として、約140年にわたり人と動物の健康に取り組んできました。これまで多様な分野で培った経験やパートナーシップを生かし、未来を見据えて研究開発に注力しています。

詳細はこちらをご覧ください

boehringer-ingenelheim.com/jp/



日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

 **Boehringer
Ingelheim**



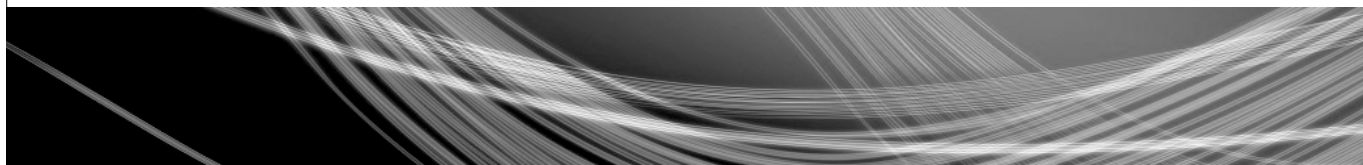
New Innovative Wave

「新しい医療周辺ビジネスの構築」を通じて
社会に貢献していきます

株式会社 ウィン・インターナショナル

本社 〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン 21 階
TEL 03-3548-0788

※お近くの拠点はこちらから





高脂血症治療剤

薬価基準収載

パルモディア[®] XR錠 0.2mg
0.4mg

PARMODIA[®] XR TABLETS 0.2mg・0.4mg (ペマフィブラート徐放錠)

処方箋医薬品：注意－医師等の処方箋により使用すること

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。



製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

興和株式会社

東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

2025年6月作成

ALEXION®
AstraZeneca Rare Disease



トランスサイレチン型心アミロイドーシス治療薬

薬価基準収載

ビヨントラ®錠400mg

(アコラミジス塩酸塩)

一般名：アコラミジス塩酸塩

処方箋医薬品(注意一医師等の処方箋により使用すること)

新発売

「効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。

製造販売元

アレクシオンファーマ合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目1番1号 田町ステーションタワーN

[文献請求先及び問い合わせ先] メディカル インフォメーション センター

TEL：0120-577-657

受付時間：9:00～17:30(土日、祝日及び弊社休業日を除く)

2025年5月作成